

UNIVERSITY

CHUKYO



中京大学

校友会通信

2025 vol.43



学校法人梅村学園総長・理事長
中京大学長

梅村 清英

「NEXT10」の推進を大きなミッションとして歩んだこの10年

——長期計画の実現を目指した、これまでの歩みを振り返って。

中京大学は二〇二四年度に開学七〇周年という大きな節目を迎えました。まずは本学を支えてくださいました校友の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに深く感謝を申し上げます。

ちょうど十年前の開学六〇周年の折、中京大学長期計画「NEXT10」をスタートさせて数々のプロジェクトに取り組み、この間、多くの改革を進めることができました。

そもそも「NEXT10」は、前梅村学園理事長である小川英次先生より託されたミッション

であり、二〇二二年三月に中京大学長期計画策定委員会を立ち上げ、私はその委員長として計画の策定に努めました。翌年十月には第四代理事長に就任し、その後学園総長、中京大学長も兼任することとなり、計画の策定から実施まで「NEXT10」と共に歩んだ道のりでした。

振り返りますと、とりわけ二〇二〇年から約四年間に亘る新型コロナウイルス感染症は、全世界に多大な影響を及ぼしました。本学においては卒業式で学生を送り出せなかったこと、新学期にもかかわらず入学式を中止にせざるをえなかったのは、誠に心苦しいことでした。

ゴーストキャンパスと化した構内を眺めるたび、いつまでこの光景が続くのか。かつてない



「NEXT10」
パンフレット
表紙

これからの10年へ 新しい時代の指標 「NEXT10 2033」始動

事態に大きな不安を感じながら過ごした日々でもありました。その後、大半の大学が足踏みをするなかで、中京大学がいち早くオンライン授業から対面授業へ切り替えることができたのは、安村仁志前学長のご英断と、その実現に向けて教職員が一致団結した賜物だったと感謝しています。これも「NEXT10」の推進に一丸となって取り組んできた大きな成果といえるでしょう。

ご挨拶

相互に思いやれる、
新たなつながりが生まれる交流を。

中京大学 校友会長

相羽 由光



平素は校友会活動に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2024年度はコロナ禍でうかがえずにいた全国の支部会にも参加させていただきましたが、社交の場を敬遠される方はまだ多くいらっしゃるようです。

今や10学部20学科を擁する総合大学として発展した中京大学ですが、校友の皆さまの活躍もまた種々の方面にわたっています。スポーツを軸とするつながりだけでなく、そうした多様な人材やSNSの活用など、新たなつながりを生

み出しこれまで培った母校との絆を更に次の世代へつないでいく“仕掛け”を、これからも各支部の皆さまと考えていきたいと思っています。

校訓「真剣味」に培われた信念を貫く姿勢とともに、チームワーク、いわゆる協調性は中京大生ならではの。困っている人に手を差し伸べ、耳を傾ける。中京大学校友会とは、そうした互いを思いやれる組織です。ぜひお気軽にご参加ください。

2024.1.1能登半島地震で被災された方々に対し、校友会の規程に則り、災害見舞金を支給いたしました。

真剣味がつなぐ、校友のためのコミュニケーション誌

校友会通信

2025 vol.43

CONTENTS

- 01 ご挨拶
- 02 <特集1>リーダーが語る中京大学の未来
これからの10年へ
新しい時代の指標「NEXT10 2033」始動
- 05 <特集2>校友会員の紹介
今その学びが実を結ぶ
「真剣味」を生きる人。社会で輝きを放つ人々。
- 11 第25回 Home Coming Day
- 13 2024年度 第4回 名刺交歓会 <東京会場>
- 15 2024年度 第19回 新春賀詞交歓会 異業種交流
- 17 校友会員の営みお店紹介
- 20 各支部からのたより
- 26 ブロック別支部長会・支部校友会開催予定
- 27 「校友会」開催報告
- 36 校友会員の栄典・栄誉
- 37 課外活動奨励賞 表彰式
- 38 会計報告

※掲載内容につきましては、2025年1月現在の最新情報をもとに編集しています。

卒業生・在学生・教職員で組織する

「中京大学校友会」

母校愛でつながる、すべての校友のためのネットワークでありたい。

1958(昭和33)年、会員相互の親睦と校友組織の充実、母校の発展への寄与を目的に発足したのが、「中京大学校友会」です。当初、商学部第1回卒業生345人でスタートした組織も今では14万人を超え、すべての都道府県、さらには海外5支部を置く大きなコミュニティへと発展しています。

会員同士の親睦をはじめ、ビジネス交流会や中京アスリートの応援、地域イベントの開催の他、在学生の卒業後の就職支援など、すべての校友会員にとって有意義なネットワークをめざして活動中です。

在学生は「校友会準会員」、卒業と同時に「校友会正会員」へ。

準会員 大学生、大学院生(会費納入期間)

正会員 大学、大学院卒業時(会費納入完了)

終身会員 すべての卒業生(会費不要)



名古屋キャンパス 校友会・教育後援会事務センター

※校友会活動への参加を希望される方は、校友会・教育後援会事務センターもしくは各支部(P19～26)へ直接、お問い合わせください。

時代の先を見据えた
さまざまなプロジェクト
に挑みながら

——その「NEXT10」について。
「教育」「研究」「社会連携」「国際
化」「卒業生連携」と五つの骨子
があり、それぞれに成果をあげ
ることができました。

とくに私自身が直接関わった
プロジェクトとしては、「教育」
分野の推進事項のひとつである
「自校教育の導入」が印象深いで

すね。中京大学のどの学生も、建
学の精神を体現する人材として
社会に進出できるよう、「中京大
学を知る」という授業を全学共
通科目として開講しましたが、
これまで二千人以上が履修し、
私も教壇に立ちながら学生の変
化を肌で感じてきました。

校訓「真剣味」や建学の精神な
ど、「自分の通う大学について、
学ばなければ知らずに卒業して
しまふところだった」と多くの
学生がカリキュラムの意義を理
解し成長してくれています。

また、教育研究機能を強化
し、「大学院の活性化」も本学に
おける大きなテーマです。

この大学院教育については、残
念ながら日本は主要先進七か国
でもっとも立ち後れています。

少子化の影響もあり、大学院
の運営自体が難しい状況ではあ
りますが、学部での学びをさら
に深掘りできる場を提供してい
くのも、総合大学としての大切
な役割といえるでしょう。

そこで二〇二四年度に文学・
国際英語学・経営学・経済学・法
学の五つの研究科を束ね、「人文
社会科学研究科」としてリ
ニューアルしました。入学生は
十五名でしたが、今後はより質
の高い教育・研究環境を整え、さ
らに多くの皆さんに見識を広
め、社会へ羽ばたいていっていた
だきたいと思っています。

社会から求められる
大学として

——リスクリングの場など、大学
に対する学びのニーズも多様化
してきました。

多様性の時代。学士課程から
の進学者だけでなく、働いてお
られる方がご自身の専門性に磨
きをかける、あるいは新たなス
キルを獲得するためなど、学び
直しの場として大学院を活用す
る人が増えています。人生経験
豊かな大人たちがキャンパスに
集まれば、世代を超越した新た
な交流が生まれ、大学の魅力も
増していくことでしょう。

そうした学びのニーズにも対
応できるよう、今後、受け入れ体
制を整えていきますので、校友
の皆さまも「いまこそ学びの

チャンス」と、ぜひ母校でもう
一度学んでいただきたいですね。

これから本学の目指すところ
としては、社会に求められる大
学の役割を強く意識しながら、
「社会になくてはならない人材」
を輩出することであり、今後十
年間の方向性を示したものが
「NEXT10 2033」です。

計画の策定期間がコロナ禍
だったため、「NEXT10」と同
じように策定委員の公募は叶い
ませんでした。理事選が選ん
だメンバーに限らず、教職員か
ら幅広く意見を募る格好で、計
画づくりにまんべんなく参画い
ただけるよう心がけました。



「NEXT10」 5つの骨子と主な取り組み(2014～2023)	
1 教育	自校教育の導入(2017年 度)、国際学部設置(2020 年度)
2 研究	人文社会科学研究科の開設 (2024年度)
3 社会連携	豊田市との連携強化、スポー ツミュージアムの開館(2019 年度)
4 国際化	国際学部国際学科GLS専攻 設置(2020年度)
5 卒業生 連携	世代を超えたChukyoアイデ ンティティの醸成

「NEXT10 2033」 5つの骨子(2024～2033)	
1 教育	新たな価値を創造し、 社会の発展に貢献できる 人材を輩出する
2 研究	特色ある 優れた研究を推進し、 教育と社会に還元する
3 国際化	多様な交流を促進し、 グローバル社会で活躍する 人材を育成する
4 学生支援	多様な学生を支え、 自立を促す
5 社会連携・ 社会貢献	持続可能な社会を目指し、 社会課題の解決に貢献する

「大学の主人公」たる
学生一人ひとりを支援し
ていくために

——新長期計画は「NEXT10」
と同様、五つの骨子から成りま
すが、今回は「学生支援」の項目
が新たに加わりました。

まずは「NEXT10 2033」
の最初の骨子である「教育」につ
いて。「新たな価値を創造し、社
会の発展に貢献できる人材を輩
出すること」を掲げ、これから大
学教育の質をさらに向上させる
制度や学修環境づくりに力を注
いでいく方針です。

そして、とくにピックアップし
てお伝えしたいのが、新たな骨
子として加わった「学生支援」で
す。時代の変化のスピードがま
すます加速するなかで、学生を
取り巻く環境や自身の生き方、
卒業後の進路など、十年前とは
比べ物にならないくらい多様化
しています。



新たな空間に生まれ変わった豊田キャンパスの学生食堂。混雑緩和のための新システムも導入されました。



日々の健康維持、あるいはパフォーマンス向上を意識した学生アスリート用のメニューも新登場。

こうした時代に、「大学の主人
公」である学生一人ひとりをど
う支えていくか。いまこそ大学
が知恵を絞るべきは、その支援
のあり方であり、多様な学生に
対するサポートを怠ることが
あってはなりません。

そこで「NEXT10 2033」
では、ソフト・ハードの両面から
最適な学生支援活動を行うた
めの整備を進めてまいります。

すでにハード面では、先行し
て豊田キャンパスの学生食堂を
大幅にリニューアルしました
が、二〇二五年度は建物の老朽
化の目立つ名古屋キャンパスを

中心に大々的な改修計画を推
進。学生の声を色濃く反映しな
がら教職員にもマスタープラ
ンの策定に関わってもらい、こ
れまで以上に学びの環境を整
えていきたいと考えています。

もちろん、卒業された校友の
皆さまがキャンパスを訪れた
際、「母校の面影がどこにもな
い」というのでは、私自身も卒
業生であり寂しいことです。従
来の雰囲気は残しつつも、構造
的に取り壊しが必要な部分は
安全性を優先するという両面
で推進していきたいと思ってい
ます。

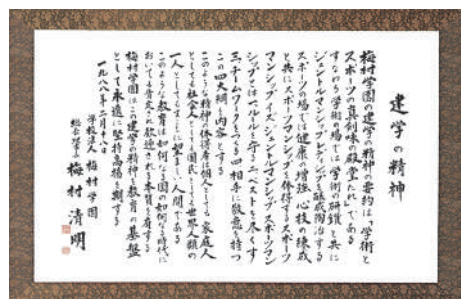
「建学の精神」に基づく
教育が
本物の知力をつくる

——地域とつながり、社会課題
を解いていくために。

さて、実は大学進学時の地元
残留率が国内では愛知県が第一
位です。しかし成績上位者の多く
が東や西へ流出してしまうのが
現実で、まずは「名古屋」に目を向
けてもらおうと、本学の発案で、
近隣の六大学(中京大学・名古屋
大学・名古屋工業大学・名古屋市
立大学・南山大学・名城大学)が
協定を結びました。地方で合同
説明会を行うなど、「名古屋」にも
これだけの学術領域をカバーで
きる大学がある」とアピールし、
少子化の時代を乗り切ろうとい
う狙いです。

他の大学とは日頃は良きライ
バル関係にありますが、時代に応
じて新しさも追求しなければな
りません。松尾芭蕉の「不易流
行」という言葉を思い出します。

では「不易」、中京大学が大切
にすべき普遍的なものとは何
か？それは「学術とスポーツの真
剣味の殿堂たれ」という建学の精
神であり、実社会においても歓迎



「ルールを守る・ベストを尽くす・チームワークをつくる・相手に敬意を持つ」を体得した人材を社会へ。

本学はこれからも、学術とス
ポーツのさらなる殿堂を目指し
てまいります。皆さま、どうぞご
期待ください。

されるスポーツマンシップの体得
です。いまや本学は多くの学部・
研究科を有する総合大学です
が、健全な心身のもとでルールを
守り、礼儀を尽くした上でこそ、
知力は本物となります。

また「NEXT10 2033」で
は、そうした本物の専門知・総合
知を活かして地域社会の課題に
も取り組んでいく方針です。たと
えばスポーツと各学部の学びを
融合させることで新たな産業を
生み、雇用を創出することもある
でしょう。そんなスポーツの可能
性を見出し、いけるのも中京大
学ならではの強みです。

今その学びが実を結ぶ

「真剣味」を生きる人。 社会で輝きを放つ人々。

豊田市役所 産業部 商業観光課 主査

下川原 沙紀 さん

2015年度卒 現代社会学部 現代社会学科



中京大学は公務員試験突破のための講座が整っていて、豊田キャンパスなら生まれ育った街を離れず、通いやすいだろうと思い、現代社会学部を選択しました。

しかし、二年生から始まった公務員講座は名古屋キャンパスを中心に開講されていましたので、学部の授業を終えるとシャトルバスで八事へ向かい、講座を受けて夜の九時ごろに帰ってくる。そんな毎日でした。

また、辻井（正次）教授のゼミで発達臨床心理学などを学びながら、教授が関わっていらつしやるNPO法人でボランティア活動に取り組んだり、図書館司書

の資格取得にも挑戦していました。サークルや部活動に打ち込むような学生時代ではありませんでした。専門性の高い講座を受けられましたし、公務員志望の仲間もいて充実した四年間だったと思います。

豊田市役所に入庁後は、福祉部生活福祉課の配属となりました。ケースワーカーとして生活保護を受けられている方と面談し、相談業務や生活指導などを担当しましたが、当時まだ二十代前半。それまで誰かの人生に関わる経験も無い、そんな自分のアドバイスは的確か？ 相談者の生活を左右しかねない責任の重さに、委縮してしまいそ

うなときもありました。とはいえ、何事もやらなければ、できるようにはなれません。そのように気持ちを切り替え、前向きに取り組めるようになったのも実は母校のおかげ。

正直、わたしは勉強が好きな方ではありませんでしたが、公務員講座の優秀な学生は何をしていくか見てみると、やはり手を抜くことなく、ひたすら努力を重ねている姿がありました。まさに触発されながら、講座もボランティアも資格取得も、どれも最後まで「やりきることができた」。そうした中京大学での経験が仕事に対しても責任感をもってやりきらなさいけない、

という姿勢につながっていると感謝しています。

その後、ジョブローテーション（定期的な人事異動により、組織の活性化や職員のスキルアップを図る）制度により市議会議員をサポートする議会局を経て、現在の商業観光課へ異動となつて約一年。

いまは中心市街地にある商業施設や商店街などへの支援策を検討し、まちなかの賑わいをどう創出していくか。それを考えるのがわたしの役割です。

たとえば、「世界ラリー選手権（WRC）」開幕に合わせ、関連企業と協力しながらイルミネーションでまちなかを盛り上げる

取り組みもその一つ。また「豊田おいでんまつり」の業務にも携わっています。豊田おいでんまつりは「踊り」と「花火」で構成されるまつりです。踊り連への参加チームが増えれば、豊田市の魅力を伝えるきっかけになると考えています。

市役所の仕事は幅広く、いろいろなことに挑戦できる面白さがあります。もちろん、どれも事業資金は税金です。責任の重さを感じながら市全体のことを考える。そのスケールの大きさにやりがいを感じています。

やりたいことをやりきった

学生時代の経験が

仕事とひたむきに向きあう責任感に。



「豊田おいでんまつり」にご参加いただける踊り連を毎年3月下旬から5月上旬頃（予定）まで募集すること。「母校の皆さんと一緒に盛り上げていたら最高ですね」と下川原さん。

豊田おいでんまつり

検索

※記載された部署名、役職等の情報は、2024年12月取材時点のものになります。



豊田市駅前に設置されたイルミネーションと。その実行委員会の一員として魅力的なアイデアを出すのも、下川原さんの仕事。

高校では野球部のマネージャーを務めたが、もともと人のために何かをすることが好きな性格。適性を見抜いた担任の教師から公務員の道を勧められ、中京大学へ進学した。公務員試験では見事、第一志望の豊田市役所に合格。2016年入庁、現在9年目。



ときには調整役として、「各方面とつながりを持ちながら、事業を成功に導いていくのもやりがいの1つです」。



中京大中京（附属高校）ではサッカー部に所属。プロになれる人と自分との違いを感じたとき、選手以外でサッカーに関わっていい仕事を考え浮かんだのがアナウンサーでした。サッカーの試合では何が起こるかわ

かりません。それに瞬時に反応する選手と同じように、実況を担うアナウンサーは“ことば”でプレーする。どこかプレーヤーに近い気がしたのだと思います。

学生時代はテレビ局でアルバイト経験を積み、東京のアナウンススクールへ週に一回、夜行バスで通う生活。早朝のテレビ番組がある日は午前三時半に家を出て、番組のフロアディレクターを務めた後、眠い目をこすりながら学部授業を受けていました。

やはり高校生とは違い、自分で時間を自由に使えるのが大学

生。ですが自分でブレーキをかけ、夢にたどり着くはずの道から外れてしまう人も多い気がします。じつは何万人というアナウンサー志望の学生が次々と脱落していく中で、自分自身も最終選考で落ち、いったん休学して就職活動をやり直した経験があります。勉強でも自分の興味を広げたいことでも、大学生のうちこそブレーキをかけず、もっと攻めていいんじゃないかと思っています。

さて、晴れてアナウンサーとなれた私ですが、もともとスタープレーヤーというより、みんなとつながってコミュニケーション

ションを取りながら何かを成し遂げていくタイプ。ローカル局の場合、報道制作局の中にアナウンスというポジションがあつて、取材やその下調べもアナウンサーの役割。新人のころは自分が「しゃべる」よりも、人に「聞く」ことに仕事の面白さを感じていました。

一方、ニュース原稿を読む現場では囁んでしまい、気にやんだ時期も。ですが有難いことに、朝の情報番組をきっかけに、「囁むことが面白い」と自分のキャラクターが視聴者に受け入れていただけるようになりました。アナウンサーとして自慢できる



青森朝日放送株式会社
報道制作局 制作部兼報道部兼
編成業務局 デジタルメディア部
アナウンサー

中井 友紀 さん

2010年度卒 法学部 法律学科

一字一句、正確に読むだけなら
A-1に任せればいい。
いっしょに弱点も自分の強みに。

中京大学附属中京高等学校サッカー部出身。選手でありながら、遠征の段取りなどマネージャー役もこなし、「全体の中で自分をどう発揮すべきか」を学んだ。大学を休学し、就職留年期間を経て2011年に入社。「夢はここから生放送ハッピー」「KICK OFF!AOMORI」などの番組を担当中。



中京大学を知っている取材相手も多く、いつも誇らしい気持ちに。「学生時代の自分に、もっと自慢していいんだよ、と教えてあげたい」と中井さん。



「どんなときもプレずに、真剣に向きあえば道は拓ける」と、社会人になってから、より真剣味のことばの意味を意識するようになった。

竹本 二人とも同郷で、高校も一緒でしたが、同じクラスになったことは一度もありませんでした。

竹本 それが中京大学の入学式で「なんだか似たやつがいるな」と、顔を見てびっくりですよ（笑）。

浦林 竹本君はバレーボール部で、僕は陸上部。どちらも運動部で共通の友人もいましたし、体育の合同授業で一緒になれば、みんなで盛り上がったぐらいのつきあいでした。

浦林 当時、鳥取から名古屋へ進学する学生も少なかったし、それぞれ別の予備校に通いながら同じ大学を目指していたとは…。竹本 あの時はずも違っし、「さすがにもう会うこともないよね」

というムードで別れましたが、まさかの四年後、鳥取銀行の最終面接で隣に座つていようとは（笑）。もうコントの世界ですよ。

浦林 自分は名古屋で就職するつもりでしたが、氷河期に突入した矢先でメチャクチャ厳しくて。竹本 流行と同じ。鳥取はバブル崩壊も遅れてやってきましたからね。「このチャンス逃すまい！」

株式会社 鳥取銀行
執行役員 ふるさと振興本部長

竹本 哲哉 さん

1993年度卒

経済学部 経済学科

2年次に受講した「銀行証券論」がきっかけで、銀行への就職を意識。鳥取銀行入行後、支店長代理となったのは2003年。2011年より県内各地域の支店長を歴任し、2022年に執行役員となる。現在、ふるさと振興本部本部長の他、地方創生担当部長、地域戦略部長を兼務。

株式会社 鳥取銀行
執行役員 鳥取西支店長

浦林 浩樹 さん

1993年度卒

法学部 法律学科

「親と同じ職業だから」と反発し銀行員を嫌っていたが、多業種とつながりを持てる業務に魅力を感じた。2002年に支店長代理、2011年に鳥取南支店長に就任。県内外の支店長を歴任後、2023年執行役員に。現在、鳥取西支店長の他、湖山、オオルリ支店の支店長、末恒出張所長を兼務。

校訓「真剣味」こそ、
社会で生きてくるマインド。
これはもう間違いないですね。——竹本
濃いつながりの中で、
しっかり人間関係を築いてこられた。
その経験は得難い財産です。——浦林



一緒に飲み、悩みや仕事の難しさを語りあいがら、「がむしゃらに突き進むことができた」。入行から30年、お互いかけがえのない存在に。



竹本さんはバレーボールサークルに所属。春高出場に懸けた高校時代とは違い、黄色い歓声に「楽しいバレーの世界を知った」よき時代。

絶対、「二人で受かつてやろう」と、そこからですよ。切磋琢磨しあう人生が始まったのは…。ところが入行後、新入行員研修で酒盛りをして、いきなり大目玉です（笑）。

どんな仕事をしているか気になりましたし、お互い隣りあう店の支店長になれば、「今度の支店長はすごいよ」なんて彼の評判も耳に入る。負けちゃいけない、という感覚がいつもあつて、全支店の中で一位、二位と業績を競いあったこともあります。ただその一方、支店長は孤独な立場。相談ごとがあれば、すぐに思い浮かぶのも、やっぱり竹本君なんです。

竹本 それに影響したかはわかりませんが、研修後、同じ支店に配属されることはありませんでした。彼が県外へ出れば自分は市内、彼が戻れば自分は県外へ、そんな感じでしたが、いちばん近い相談相手であり、いい意味でのライバルだった。同じペースで銀行内でのポジションも上がりましたし、彼に負けたくない気持ちがいちばんの原動力だった気がします。

竹本 自分一人だったら考え方も凝り固まっていたでしょうし、わたしにとっても有難い存在でした。彼の店でうまくいった企画をそっくりマネたこともあるし（笑）。

浦林 そこはお互いさま（笑）。竹本 やっぱ「オールとりぎん（鳥取銀行の愛称）」でね。協力しあい、ふるさと鳥取のために全力で恩返ししていかないと。

浦林 学生が集まり、視野も広がりましたし、地域性や考え方の異なるコミュニティでどれだけ自分を発揮できるか。そんなことも探求できた面白いフィールドだったかと。

浦林 そう。自分たちの手柄なんかじゃなくて、「銀行が良くなれば」とか「地域の皆さまに喜んでいただきたい」とか、そういう思いがあるからお互いに信頼できる。

浦林 人との関係性を築きながら、個性や強みを出していく。そこはまさしく行員に求められる部分。

竹本 今、執行役員の立場で、彼は鳥取の中心にある店の支店長、わたしはいわゆる営業本部の本部長を務めています。営業店のトップと営業本部、そうした関係性の中で、彼には収益的な部分をお願いすることも多いですね。

浦林 結局、面白味のない人間はお客さまにも受け入れられにくいですからね。なに「こにも真剣に取組む。そんな中京大生らしさを前面に出して活躍できるのが、実は銀行業界だったりますので。ぜひ「真剣味」の精神を培った、たくましい後輩の皆さまにチャレンジしていただきたいですね。

浦林 中京大学で学び、地元で活躍していただければ、鳥取ももっと元気になるでしょうし。その日を楽しみにしています。

竹本 とくに中京大学は全国から



行内で中京大学出身者は現在4名。「鳥取銀行 中京会」の設立を検討中で、「勢力を拡大したい」と後輩の会社訪問に期待感を高めているお二人。



産業調査部に所属した浦林さん。「みんなで学祭を盛り上げよう」と力を合わせた一体感と達成感こそ、若い時期だけの大きな収穫。

※記載された部署名、役職等の情報は、2024年12月取材時点のものになります。

キャンパスツアー

所要時間約50分。キャンパス内の施設を見学できるとあって、毎年多くの校友が参加。母校を誇らしく感じていただけるひとときです。

校友生ショップ

ご出店いただいた「BAKERY つむじ風(パン)」、「きりむきり(シフォンケーキ)」、「鳴萬(テールスープ)」、「川井ファーム(新米)」、「松尾醸造場(醤油、味噌)」、「iLimA(丼物)」と、どちらもあつという間に完売となる人気ぶりでした。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

スタンプラリー

ブースをまわって、カプセルトイ引換券がもらえるスタンプラリー。サーモボトル(水筒)など、レアな中京大学オリジナルグッズが当たるとあって大人も夢になりました。



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



下井 裕介さん
2006年度
社会学部卒
「子どもたちもいろいろ遊べて楽しいですね。」

倉知 三純さん
1980年度
商学部卒
「今日はキャンパスツアーを目標に参加しました。」



豊田キャンパス



名刺交歓会

東京会場

名刺交歓会とは

中京大学校友会が主催する、本学卒業生のための異業種交流会が「名刺交歓会」です。業種や職種を問わず気軽に参加でき、ビジネス交流を通じて校友同士がつながる場として2017年にスタートしました。昨年度は大阪、そして今年度は5年ぶりに東京を舞台に開催され、多種多様な業界からビジネスパーソンが集結。人的ネットワークを広げたい校友の皆さまに人気のイベントとなっています。

講演会

講師 | 倉持 梨恵子 准教授(中京大学スポーツ科学部トレーナー学科)
演題 | 体幹を体感！
スポーツ傷害予防と腰痛解決のための革新的アプローチ

スポーツ傷害を運動で解消し、
パフォーマンスを最大化

室伏広治氏のコンディショニング理論に学び、競泳の谷口卓選手(2023年度スポーツ科学部卒)のパリ五輪出場にも貢献。

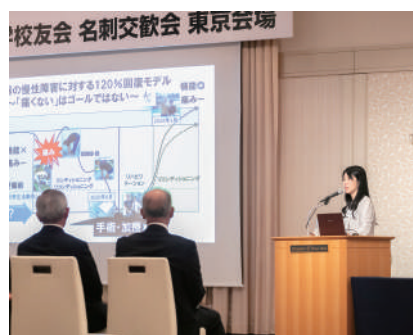
二〇二四年九月二十一日(土)、品川プリンスホテルにて、第四回 中京大学校友会名刺交歓会東京会場」が開催されました。

講演会には、本学でアスレティックトレーナー養成カリキュラムの立ち上げを担われたスポーツ科学部倉持梨恵子准教授が登場。腰痛を中心とするスポーツ傷害に取り組み、痛みが生じるメカニズムか

ら腰痛対策のメソッドまで幅広くご紹介いただきました。一般的には腰が痛ければ、腰を検査して、安静にする、腰のマッサージを受けるなど、痛い場所を中心にアプローチを行います。ところが、また運動を始めるのと再発してしまうことを考えると、痛みの本当の原因は腰に不適切な歪みを起こす他の部位にあります。

このような悩みを抱えるアスリートのために倉持准教授は、どの動作で痛みが出るのかを解析。動きを正して痛みを解消し、パフォーマンスを最大化することを最終目標とされ、いらつしやいます。

また、腰痛を防ぐためには体幹を鍛え、安定化するのが重要ですが、腹筋や背筋運動を推奨したのは過去の話。今は腹腔(肋骨から骨盤の間の空洞部分)を支える横隔膜・腹横筋・骨盤底筋に均一に圧をかけ、身体の内側から体幹を鍛えるのがトレーニングなのだとか。講演後、最先端の知見と母校のアスリートたちの活躍を支える頼もしい存在に大きな拍手がおくられました。



参加者全員が互いに高め合っていく交流の場として

中京大学の発展にあやかり
ビジネスも右肩上がりです

午後四時、早くも名刺を交わす姿が会場内の随所で見られ、イベントの盛り上がりへの予感と共に名刺交歓会が幕を開けました。

まずは、相羽由光校友会長が登壇。「名刺交歓会は校友のためのビジネス

交流の場であり、これを継続できるのは、皆さまがそれぞれに頑張つてこられた証です。今後このつながりの場を大切にしたい」と挨拶しました。

ご来賓の梅村清英総長・理事長、中京大学長は、二〇二三年梅村学園創立一〇〇周年という大きな節目に続き、二〇二四年は大学開学七〇周年という、もう一つの節目を迎えることができた

ことへ感謝の気持ちを述べられました。そして「NEXT10 2033も始まり、〈挑戦し続ける大学〉としての歩みを止めることなく突き進んでいきたい」と力強く宣言。続いて森田大延校友会副会長が、肩は右肩上がり、足は末広がりのハの字に広げたポーズを促し、「成長し続ける母校にあやかり、皆さまのビジネスも成功されますように！」と乾杯

の首頭をとると、場内が大いに沸き上がりました。

刺激や
確かな手応え
母校愛までも感じながら



五年ぶりの開催のせいか、この日の東京会場は活気に溢れ、名刺を交わす皆さんの表情も弾けるような笑顔でした。

「普段は同業者、同世代との交流が中心ですが、今日は他の業界や上の世代の方とも交流でき、学ぶところがたくさんありました」とおっしゃるのは野呂亮介さん(二〇一六年度スポーツ科学部卒)。初参加の早崎さやかさん(一九九六年度文学部卒)は、「学部や部活の集まりと違い、名刺交歓会は知らない顔ぶれで緊張しましたが、皆さん、気軽にお声がけくださり安心しました」とホッとした様子。また須田真太郎さん(二〇二三年度経済学部卒)は「手応えも刺激もあり、ビジネスのストレスを解消する手がかりも掴める機会。これから後輩にも勧めた

いと思います」とのこと。金梅花さん(二〇〇四年度商学部卒)は、「留学生の時間にお世話になり、これから母校にその恩返しをしていきたい」と参加を機に思いを新たにされたそうです。それぞれが、それぞれの思いを持ち寄り集った名刺交歓会。最後は学歌斉唱で円陣を組んだところで、「校友の輪をさらに大きく広げて欲しい」と松村垂矢子校友会副会長が結び、閉会となりました。



森田 大延
校友会副会長



梅村 清英 総長・理事長、
中京大学長



相羽 由光
校友会会長



名刺交歓会に参加して



SMBC
日興証券株式会社

川上 肇さん

1989年度
体育学部
健康教育学科卒

初めて参加しましたが、想像以上に盛大で驚いています。若い世代と業界の動向や今後について語り合うこともでき、実りある機会となりました。これを機に母校のお役に立てればと思います。



社会福祉法人
ともかわさき

栗葉 泰代さん

1987年度
体育学部
健康教育学科卒

部活の仲間との再会を求めて初参加。知り合いはいませんでした。同窓のご縁ですぐに打ち解け、おしゃべりも楽しめました。ビジネスに限らず、充実した時間を過ごせる有意義な場でした。



REANSCENE
STUDIO

山崎 義久さん

2016年度
工学部
メディア工学科卒

仕事に余裕を持てる年齢になり、他の業界の方とも交流してみようと思いました。学生時代の感覚が甦ってリフレッシュできたと同時に、ひさびさに建学の精神に触れて元気をもらいました。



株式会社
RYOMA

阿阪 滉貴さん

2016年度
現代社会学部
現代社会学科卒

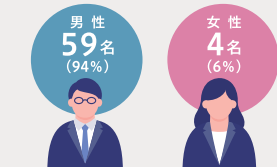
これまで経営者の会には何度も参加しましたが、共通点がなく手探り。ですが今回は会話も弾み、ビジネスチャンスも獲得できました。若い方は絶対に参加しないともったいないイベントです！

2024年度

東京名刺交歓会
参加者プロフィール

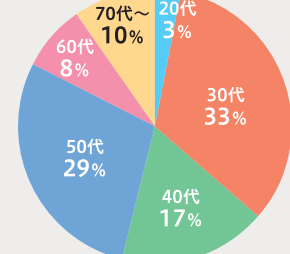
5年ぶりとなった東京会場の参加者は63名。東京都、神奈川、千葉、群馬、埼玉県などの関東エリアのみならず、会場へのアクセスの良さも手伝って、岩手や長野、三重県からも参加者を集めました。

男女比



女性は少数派となりましたが、性別に関係なく、気軽に話しやすい雰囲気も母校の名刺交歓会ならではの、です。

年代分布



30～50代で参加者全体の79%を占めました。若手起業家の活躍も目覚ましい昨今、20代の参加に期待したいところです。

業界分布

A	食品・飲食・衣料・総合店舗・専門店等	8%
B	自動車・電力・燃料・部品・機器・資材・物流・運輸等	2%
C	建設・住宅・不動産・公共工事・ビル・設備等	3%
D	金融等	6%
E	医療・医薬・福祉・衛生・理美容・健康等	5%
F	旅行・宿・レジャー・美術・スポーツ等	8%
G	マスコミ・芸能・芸術・印刷・広告・デザイン等	9%
H	情報・通信・IT・システム・コンピュータ等	13%
I	総合商社・コンサルタント・専門職・派遣業等	13%
J	教育・公共・公務員・各種連盟等	17%
K	その他	16%

教員・公務員に続いて、マスコミやIT関係者、コンサルタントなどが多く、大都市圏らしさが業界分布に顕著にあらわれました。

新春賀詞交歓会

新春賀詞交歓会とは

中京大学校友会のための、ビジネスの人脈づくりや異業種交流を目的に、校友会が毎年行っているイベントが「新春賀詞交歓会」です。十九回目となる今年度は二〇二五年一月十一日（土）、名古屋観光ホテルにて開催されました。日本列島が強烈な寒波に震えた日でしたが、「中京晴れ」とも言いたくなるようなお天気にも恵まれて、校友の絆を感じる温かな交流が繰り広げられました。



トークショー

「習慣力で切り拓く未来」 ～オリンピック・パラリンピアンたちの挑戦～



青戸 慎司さん 1989年度 体育学部卒 陸上100m元日本記録保持者。短距離代表としてソウル、バルセロナ、さらにボブスレーで長野冬季オリンピックと、日本人男子初の夏冬オリンピック出場選手となる。現在、中京大学陸上競技部副部長。	川端魁人さん 2020年度 スポーツ科学部卒 東京オリンピックに続き、4×400mリレー選手として出場した2024年パリオリンピックでは第二走者を務め、20年ぶりに6位入賞（アジア記録、日本記録を達成）。現在、競技者兼中京大学陸上競技部コーチ。	福永凌太さん 2020年度 スポーツ科学部卒 パラ陸上競技T13（視覚障がい）クラス。進行性の難病と闘い、初出場のパリパラリンピック400mで銀メダル獲得。現在、日本体育大学大学院で学び、パラスポーツの発展・強化に向け活動中。
--	--	---

第一部には、中京大学陸上競技部出身のオリンピック・パラリンピアンが勢ぞろい。青戸慎司副部長をファシリテーターに、川端魁人選手、福永凌太選手によるトークショーが行われました。

まずはパリオリンピック・パリニックの振り返りから。両選手を指導された青戸副部長いわく、彼らは現役時代のカール・ルイス氏を知らないZ世代。四年に一度の大舞台も「地球上で最高峰の舞台に立てるのは競技者として幸せ」（川端選手）「目指してきた場所。楽しみ尽くしてやろうと臨んだ」（福永選手）という肝の座りようだったとか。

また、400mをハイスピードで走り続ける苛酷さについて言及。厳

しいレースで世界を制すべく、階段や坂ダツシム、低酸素状態でのバイクトレーニングと、肉体を限界まで追い込む練習内容に場内が静まり返るほどでした。

しかし、両選手がこうしたトレーニングを日々、積み重ねてこられたのは「習慣力」によるもの。川端選手が「毎日、ノートにその日の練習を記録し、自己管理力を磨いた」と語れば、福永選手は「学びグセをつけた」そう、他の選手の良いところを取り入れるよう習慣づけたことがメダルにつながったようです。何よりコーチとの信頼関係がいちばんの支え。最後は二人から青戸副部長への感謝の言葉で締め括られました。

始まりは母校。そのつながりをビジネスや成長の原動力に

新たな出会いへの期待と
歓びを、校友とともに

第二部・新春賀詞交歓会は理

エールを送りつつ、「本日は校友の絆をビジネスやご自身の成長に生かして欲しい」と述べました。梅村清英総長・理事長、中京大学長は今後、本格化していく長期計画「NEXT102033」や体育会の活躍を紹介。また学長職の続投が発表されると大拍手が起りました。

乾杯の音頭は安村仁志校友会顧問から、「今日は「杯を乾かす」ではなく、「歓」杯で。とびきりの歓びを校友の皆さんで味わいま

しょう」とご挨拶され、賀詞交歓会が始まりました。

コミュニケーションの輪は 世代や学部を超えて

安藤悠香さん、福安朋奈さん（二〇一五年度文学部卒）はゼミ仲間「お世話になった先生とお会いできたら」と二人で参加されました。「恩師とは再会できませんでしたが、さまざまな企業の方とお話しでき、とても有意義でした」と

ご満足いただけた様子です。

西川敦也さん（一九九八年度体育学部卒）は初参加。「母校の集まりとはいえ、初対面の方も多く、仕事や普段おつきあいできないようなご縁もいただきました」。

田中直美さん（一九八九年度体育学部卒）は「世代や学部は違いますが、母校を共通項に仲間も増えました」とすっかり「常連」です。

東京から駆けつけたのは竹内康人さん（一九九七年度経営学部卒）。「東京会場の名刺交歓会にも

よく参加しています。名古屋は人数もかなり多く、刺激になりました」と手応え十分です。

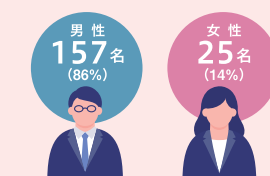
最後は学歌斉唱、森慶之参与のエールと会場のボルテージは最高潮のままに、明断光宜校友会副会長の閉会の辞で散会となりました。



新春賀詞交歓会 参加者プロフィール

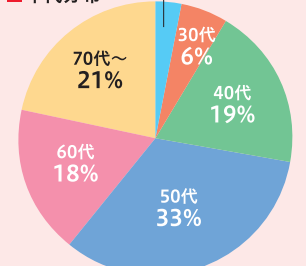
2024年度の新春賀詞交歓会は、東海エリアだけでなく、東京や神奈川、兵庫、滋賀と、遠方から足を延ばす方も多く182名が参加。大学関係者と合わせて総勢270名の校友が集う、新春にふさわしい賑やかなイベントとなりました。

男女比



女性参加者は、前回とほぼ変わらず全体の14%。女性1人でも参加しやすいビジネス交流の場として、積極的にご活用ください。

年代分布



20～30代は参加者全体の9%（17%）、40～50代は52%（51%）、60代以上は39%（33%）と、今年度は世代間の差がより一層明確に。
※（ ）内は2023年度のデータ

業界分布

A	食品・飲食・衣料・総合店舗・専門店等	6%
B	自動車・電力・燃料・部品・機器・資材・物流・運輸等	13%
C	建設・住宅・不動産・公共工事・ビル・設備等	10%
D	金融等	6%
E	医療・医薬・福祉・衛生・理美容・健康等	7%
F	旅行・宿・レジャー・美術・スポーツ等	3%
G	マスコミ・芸能・芸術・印刷・広告・デザイン等	3%
H	情報・通信・IT・システム・コンピュータ等	2%
I	総合商社・コンサルタント・専門職・派遣業等	10%
J	教育・公共・公務員・各種運送等	23%
K	その他	17%

業界別の出席者分布については、ほぼ例年通りですが、社会情勢を反映し、旅行やコンサルタント、健康関連に従事する方が増えました。

新春賀詞交歓会に参加して



トヨタ自動車株式会社
佐藤 圭太さん
2013年度
体育学部
健康科学科卒

2024年にパラ陸上競技を引退。お世話になった校友の皆さまへ感謝の気持ちを伝え、今後、社業に専念するための新たなつながりを得る場となりました。



鬼頭工業株式会社
高橋 豊さん
2002年度
体育学部
体育学科卒

同じ部署の上司と部下という関係です。会社がこれから新分野に挑戦するところで、視野を広げようと初参加。皆さん、情報交換に意欲的で想像以上の収穫でした。



鬼頭工業株式会社
岡内 秀美さん
2017年度
スポーツ科学部
スポーツ教育学科卒



有限会社
元祖鮎もなか本店
古田 憲司さん
2006年度
文学部
言語表現学科卒

前は事業継承後、間もないタイミングで参加し、有難いご縁をいただきました。学生時代は思いもなかった“人となつながら”大切さを母校に教わりました。



愛知日産自動車株式会社
寶来 ひと美さん
1992年度
文学部
国文学科卒

ほぼ毎年、参加しています。今回、指定されたテーブルに同世代が多く、皆さんの活躍が励みになりました。「業界別」以外のテーブル分けもぜひお願いします。

「自分のお店を紹介したい」
「校友会員の店を知っている」という方は
是非こちらまでご連絡を▶▶

中京大学校友会事務センター
メールアドレス
koyu@ml.chukyo-u.ac.jp

または

ご登録フォームより
直接入力



原点は母校、成功のキーワードは“真剣味”

校友会員の営むお店紹介

人生は1度きり、ワクワクする生き方を。
店は長く、こよなく愛され続けるように。

大学卒業後は消防官として18年間、公職に就きましたが、人生は1度きり。「いつか自分の力で成功したい」という思いから不動産投資を始め、それがターニングポイントとなりました。妻がつくるシフォンケーキは以前、名古屋市内で経営するカフェで出していたもの。モチっと弾力があって美味しいと評判になり、駅ナカの出店や百貨店の催事へのオファーが相次ぎ、専門店をオープンすることとなりました。その日つくったケーキは、その日のうちに売るのが鉄則。そんな商品管理を徹底するため多店舗化はできませんが、「細く長く愛される店」でありたいと思っています。



シフォンケーキ専門店は名古屋市と日進市に2店舗(写真は竹の山店)。デコレーションのないカットシフォンはふるさと納税品(日進市)でお取り寄せ可能です。



生地材料は卵、油、水分、粉、塩のみ。すべて無添加、自社ブレンドの粉を使用することで、弾力があってしっとりとした美味しいシフォンケーキに焼きあがります。



愛知県 日進市・名古屋市
しふおんけーきのお店
きりむきり

奥平 厚生さん 1987年度卒 体育学部体育学科 奥さま 良佳さん

info

竹の山店
【TEL】0561-76-5611
【営業時間】11:00~19:00
【定休日】月・火曜定休(祝日の場合は営業)
【所在地】愛知県日進市竹の山2丁目2021
【アクセス】「竹の山南」バス停徒歩約2分

白土店
【TEL】052-737-1166
【営業時間】11:00~18:00
【定休日】月・火曜定休(祝日の場合は営業)
【所在地】愛知県名古屋市緑区白土419
【アクセス】「白土」バス停徒歩約2分

創業52年。秘伝の美味しさと
昔ながらの活気ある雰囲気ごと受け継いで。

入学式は中止、語学系の授業以外はすべてオンラインと、コロナ禍で過ごした学生時代でしたが、自由な時間が増えて幼いころから継ごうと決めていた店の手伝いもできました。そろそろ仕込みも任せてもらえるようになりましたが、「最近、味が変わったね」とお客さまに言われるのだけは絶対に嫌。負けん気の強さは中京大中京野球部で培われたものかもしれません。祖父母、父母と受け継がれてきた秘伝の味と同時に、タッチパネルや無煙ロースターもない、この昔ながらの活気ある雰囲気を「中京魂」で頑なに守っていきたいですね。



地元のお客さまに愛されて創業52年。曾祖母の秘伝のレシピでつくるタレが自慢の焼肉店。Home Coming Dayでの出店をきっかけに来店された校友も。



2日間じっくり煮込んでつくる看板メニューのテールスープは、深みがあってまさに絶品! 種類豊富なお肉とともに、キンキンに冷えたビールと相性抜群です。



愛知県 名古屋市
焼肉 鳴萬

3代目 桂山 京汰さん 2023年度卒 経営学部経営学科

info

【TEL】052-891-4179
【営業時間】平日17:00~22:00 土日祝16:00~22:00(L.O.全日21:30)
【定休日】月曜定休(祝日の場合は営業、翌火曜日休業) *月1回、月・火曜 連休有
【所在地】愛知県名古屋市緑区鳴海町字花井町62
【アクセス】名鉄名古屋本線鳴海駅より徒歩約10分



愛知県 清須市
七里酒店

大将 林 昌宏さん 1988年度卒 体育学部体育学科
日本酒担当 林 里穂さん 2017年度卒 経営学部経営学科

info
【TEL】052-501-1294
【営業時間】9:30~20:00 【定休日】日曜日、祝日
【所在地】愛知県清須市西枇杷島町南大和180
【アクセス】名鉄犬山線下小田井駅より徒歩約3分

造り手のこだわりやストーリーを大切に
小さな酒蔵が醸す本当に美味しい酒を広めたい。

父は体育学部で野球漬け、わたしも同様にバドミントンひと筋の4年間を送りました。実家は1947年創業の酒屋ですが、社会経験のため卒業後は東京のコンサル会社に就職。バド部で培った忍耐力でハードな業務をこなし、退職後に京都で日本酒の勉強をスタート。現在は家族4人で酒屋を切り盛りしています。土曜16時には美味しいおつまみとともに、おすすめの日酒やワインを角打ちスタイルで提供する「Bar de Shichiri」を店内にオープン。今後も造り手の思いを丁寧に伝えることで、日本酒ファンの輪を広げていきたいです。



2017年のリニューアルで売り場を拡大し店舗イメージを一新。「好きな酒を好きな人と」をテーマに厳選した日本酒やワインがズラリと並びます。



日本酒担当の里穂さんおすすめは、三重県にある元坂酒造の「酒屋八兵衛」。米の旨味をストレートに感じながら、ゆるりと愉しめる食中酒です。



愛知県 豊田市
iLima

代表 山本 未来さん 2007年度卒 体育学部健康科学科

info
【TEL】0565-41-5650
【営業時間】11:30~18:30(土曜日はInstagramで確認)
【定休日】日曜~火曜定休
【所在地】愛知県豊田市西町2丁目8
【アクセス】名鉄三河線・名鉄豊田線豊田市駅より徒歩約2分 (ホームページ)



母校のアスリートの心身を支えた
栄養満点のお惣菜でがんばる人を応援。

高校生時代は野球部のマネージャー。そんなご縁もあって、アスリートに特化した食事提供を始めたのが出発点です。2024年4月にオープンしたこの店では、常時50種類の惣菜を日替わりで冷凍販売。野菜も美味しく食べられるよう、薄い味つけで素材のうまみを大切にしながら調理しています。栄養士の先輩とスタートして、困ったことは梅村学園の卒業生にまず相談。校友のつながりに支えていただきながら、選手たちのために思考錯誤してきたことが今、忙しい社会人やお母さん、子どもや高齢者の方々と皆さんへのエールになっている。嬉しいですね。



メニューは250品以上。栄養バランスだけでなく、水素水で育てたお米や美味しい地元の農作物など、食材選びにもこだわっています。お弁当のオーダーにも対応。



できたての美味しさを封じ込めて瞬間冷凍。湯煎やレンジで簡単に、手づくりならではの味を楽しめるとあって、遠方では長崎、青森などと、全国にファンが拡大中です。ギフトBOX4,000円~(税・クール便送料込み)。

▶ 宮城県支部 イベント開催

支部長 佐藤 幸博 新支部長

卒業年度・学部
1976年度 商学部

支部への連絡先
s7.2s.3ks@gmail.com



3代目千葉道博支部長から引き継ぎました、佐藤幸博と申します。会員の皆さまには日頃の校友会活動へのご協力を大変感謝しております。2025年10月に仙台市で行われる北海道・東北ブロック支部長会に伴い、宮城県支部校友会を開催する予定です。皆さま奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

イベント 2025年10月4日(土) 予定【26ページ参照】

SPECIAL REPORT

各支部からのたより

全国46都道府県支部、海外5支部と、各地でさまざまな活動を展開している校友会支部。お住まいの地域の支部が、どんな活動をしているのか。今後の活動計画を2025年度の行事予定と併せてご紹介させていただきます。各支部の活動にどうぞご参加ください。

イベント開催 イベントの詳細については各支部にお問い合わせください。

▶ 北海道・東北ブロック

▶ 北海道支部 イベント開催

支部長 高井 雅一

卒業年度・学部
1975年度 体育学部

支部への連絡先
s.kasuya@ishi-taikyo.or.jp(事務局長 糟谷)



2024年度は役員の改選を行い、常任理事・地区理事のさらなる若返りを図りました。今後の北海道支部の活性化につながることを期待しています。9月15日(日)には支部会を開催。大学・校友会本部から8名のご出席を賜り、翌朝には例年通りゴルフコンペも行いました。また11月30日(土)には学校部会も開催いたしました。

イベント 2025年8月9日(土) 予定

▶ 山形県支部

支部長 石川 宏

卒業年度・学部
1976年度 体育学部

支部への連絡先
ishikawafamily127@yahoo.co.jp



東日本大震災後、山形県にはいまだに1,172名が避難されています。私が住んでいる米沢市にも、福島県から300名の方が避難されており、一日も早い復旧・復興を願っています。山形県支部校友会の開催が決まりましたら、若い会員の皆さまにも連絡を取り、ぜひ多くの方に参加していただきたいと思っています。

▶ 青森県支部

支部長 米内 正明

卒業年度・学部
1972年度 体育学部

支部への連絡先
090-3364-5021



2024年10月に青森県支部校友会を開催し、大学・校友会本部より地元八戸市出身の内田学園理事、相羽校友会長をはじめ8名の皆さまをお迎えして、なごやかに旧交を温めました。2026年は「青の煌めきあおり国スポ」が、1977年の「あすなろ国体」以来、49年ぶりに青森県において開催されます。ご来県の際にはぜひご連絡ください。

▶ 岩手県支部

支部長 田村 雄孝

卒業年度・学部
1969年度 体育学部

支部への連絡先
090-4886-7750(SMS可／事務局長 佐藤義文)



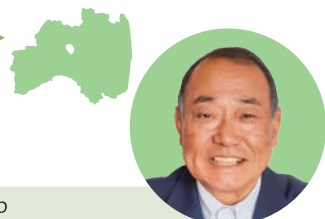
コロナ禍以来、県の支部会を開催することができずにいる状況です。そろそろ岩手県も支部設立50周年を迎えようとしておりますので、その際は盛大に開催したいと考えております。この節目をきっかけにこれまで参加できなかった校友の皆さまにもご参加いただき支部を盛り上げていきたいと考えています。皆さまのご協力をお願いいたします。

▶ 福島県支部

支部長 山内 光樹

卒業年度・学部
1975年度 体育学部

支部への連絡先
up175512-7824@tbz.t-com.ne.jp



昨年の秋、青森県での北海道・東北ブロック支部長会および青森県支部会に参加し、校友の大切さを改めて実感しました。一昨年に福島県支部会を開催しましたが、活性化に向けた取り組みが課題です。できるところから取り組み、会員の把握や組織の充実を図らなければなりません。校友の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

中京大学校友会

1958(昭和33)年、「会員相互の親睦と中京大学の発展に寄与すること」を目的に発足した中京大学校友会。(2019年4月～名称変更)

発足当時は商学部のみ、第1期卒業生が巣立った翌年度のことでした。

その後都道府県ごとに支部が立ち上がり、学校部会や学部校友会、

さらには海外支部と、現在では全76の支部や部会、卒業生数約14万人という大きな組織に発展しています。

支部一覧

46支部 都道府県支部 ブロック別 北海道・東北 / 関東 / 中部 / 近畿 / 中国・四国 / 九州・沖縄	8地区 愛知県学校部会 八豊会 / 豊田みよし地区 / 知多地区 / 岡崎地区 / 尾張地区 / 愛知県立高等学校部会 / 特別支援教育部会 / 私立学校部会	7部会 愛知県以外の学校部会 北海道 / 富山県 / 石川県 / 山梨県 / 岐阜県 / 静岡県 / 三重県
6部会 学部・大学院校友会 法学部 / 文学部 / 心理学部 / 社会学部・現代社会学部 / 経済学部 / スポーツ科学研究科 ※各学部には大学院修了生も含む	4部会 警察部会 愛知県 / 岐阜県 / 三重県 / 山梨県	5支部 海外支部 台湾 / カナダ / オーストラリア / アメリカ / アメリカ東部

▶ 校友会役員紹介 | 会長・副会長・顧問

[会長]



[副会長]



[顧問]



▶長野県支部 イベント開催

支部長

辺見 元孝

卒業年度・学部

1981年度 体育学部

支部への連絡先

ybski2000@yahoo.co.jp

長野県支部では年1回、支部会を開催しています。また、支部のグループLINEを作成。個々の近況や情報交換だけでなく、県内それぞれの地域で活躍していることがうかがえて、いい関係になっています。こうした情報交換ができていますと、長野県支部校友会にも参加しやすくなると思います。今後はこのグループLINEの人数を増やしていくことが目標です。

イベント 2025年11月29日(土) 予定

▶岐阜県支部 イベント開催

支部長

山田 良種

卒業年度・学部

1969年度 商学部

支部への連絡先

yamaco1414@yahoo.co.jp

2025年10月18日(土)、岐阜市内で中部ブロック支部長会が開催されます。この機会に校友の皆さまは誘いあってぜひご参集ください。詳細は決定次第、ご案内します。「中京大岐阜」のともだちLINEも募集中です！卒業生は誰でも参加できます。

イベント 2025年10月18日(土) 予定【26ページ参照】

▶静岡県支部

支部長

杉山 仁夫

新支部長

卒業年度・学部

1974年度 体育学部

支部への連絡先

jinnfujihagoromo1212@yahoo.co.jp／090-7680-8197

中部ブロック支部長会の後に静岡県支部会を開催しました。初めて参加された方が3分の1ほどいました。支部校友会は少なくとも15年間毎年継続してきましたが、まだまだ認知度が低いことを実感しました。今後、参加者を増すためには若い方や女性の参加が必須です。思案しながら支部会を継続していきたいと考えております。

▶近畿ブロック

▶三重県支部 イベント開催

支部長

豊田 利一

卒業年度・学部

1968年度 経営学部

支部への連絡先

kazuken0501@gmail.com (事務局 馬場 一美)

三重県支部では毎年11月に総会・支部会を開催しています。昨年は会員51名、校友会役員、近畿ブロック各支部長の参加を得て開催しました。今年は11月23日(日・祝)に開催予定です。三重県支部では40代以下の方々にも多くご出席いただけるよう企画を考えています。皆さまの参加をお待ちしております。

イベント 2025年11月23日(日・祝) 予定

▶富山県支部

支部長

北山 豊

新支部長

卒業年度・学部

1991年度 社会学部

支部への連絡先

kitayama.yutaka@ryukokutoyama-h.ed.jp

野田智前支部長のご勇退に伴い、後任をお引き受けすることになりました。校友会および富山県支部の発展のために、微力ながら頑張りたいと思います。富山県には1,700名を超える会員(卒業生)がおられます。ぜひ会員の皆さまには、積極的に校友会活動にご参加いただきますよう心からお願い申し上げます。

▶石川県支部

支部長

森山 喜博

卒業年度・学部

1979年度 体育学部

支部への連絡先

090-3768-6730

元日からの震災により、とくに能登は壊滅的な状況となりました。7月の校友会による被災状況調査では106名が支援対象となり、校友会本体より見舞金を支給いただきました。9月には豪雨災害も発生しましたが、12月に支部会を開催することができました。母校のご恩に報いるためにも支部の活性化に努めてまいります。

▶福井県支部 イベント開催

支部長

寺腰 聡

卒業年度・学部

1981年度 体育学部

支部への連絡先

ts268334@ton21.ne.jp

12月7日(土)、福井県支部の総会・支部会を参加者28名で盛大に開催しました。初参加の会員が3名。年齢も20代から80代までと幅広く、これまでとは違った雰囲気の中で和気あいあいと楽しい時間を過ごせました。2025年度は「名刺交換会」という名称で、多くの方々に参加していただき「校友のつながり」を大切にしていきたいです。

イベント 2025年12月6日(土) 予定

▶山梨県支部

支部長

山下 正人

卒業年度・学部

1971年度 体育学部

支部への連絡先

kitagawa.yukihito@violet.plala.or.jp

近年、母校の充実・発展ぶりや、校友の世界的な活躍に誇りを感じています。2023年秋に開催しました中部ブロック支部長会とともに、山梨県支部校友会をより盛り上げることができました。今後に向けて一人でも多くのご参加をいただけるよう、ご協力をお願いします。

▶千葉県支部

支部長

新村 浩章

卒業年度・学部

1983年度 体育学部

支部への連絡先

h.nimr531@xa2.so-net.ne.jp

千葉県では2023年、関東ブロック支部長会および千葉県支部会を開催しました。早いもので2年が経つところです。現在、千葉県支部会を計画しているところです。校友会事務センターと連携を取りながら案内を送付させていただきますので、多くの皆さまの参加をお願いいたします。新しいつながりをぜひ作っていきましょう。

▶東京都支部 イベント開催

支部長

三宅 祐一郎

卒業年度・学部

1987年度 商学部

支部への連絡先

yu.miyake88@i.softbank.jp

2024年9月、東京都で名刺交歓会が開催され、東京都支部の交流もさらに深まりました。昨年は私自身も大きな節目となる還暦を迎え、前回以上に多くの皆さまと再会できるよう支部会開催に向けて準備を進めております。皆さまのご参加をお待ちしております！

イベント 2025年7月26日(土) 予定

▶神奈川県支部

支部長

諸石 晃

卒業年度・学部

1982年度 体育学部

支部への連絡先

a.moroishi@gmail.com

神奈川県では昨年10月、梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ大学関係者、関東ブロック支部長の皆さまをお迎えし、関東ブロック支部長会と神奈川県支部会を開催しました。久しぶりに再会した校友と本当に楽しいひとときを過ごすことができました。「NEXT10 2033」の始動と母校の益々の発展を祈念しております。

▶中部ブロック

▶新潟県支部

支部長

山田 秀樹

卒業年度・学部

1980年度 体育学部

支部への連絡先

hide-224@topaz.plala.or.jp

とくに目立った活動は今年度もできませんでしたが、支部長として中部ブロック支部長会に出席させていただきました。各支部の取り組みを聞く中で、広い地域をいくつかに分けて組織するなど、今後の活動に向けて大いに参考になりました。まずは近くの会員と連携を深め、支部の活性化に向けて輪を広げていきたいと思っています。

▶関東ブロック

▶茨城県支部 イベント開催

支部長

塚本 浩一

卒業年度・学部

1983年度 体育学部

支部への連絡先

yuichi0219@icloud.com

当支部では一昨年、林邦夫名誉教授をお招きして開催した支部会以降、主だった活動ができませんでした。2025年度は、10月11日(土)に水戸市で開催予定のブロック別支部長会にあわせ、支部会を開催予定です。一人でも多くの会員にお声がけいただき、盛大な会としたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

イベント 2025年10月11日(土) 予定【26ページ参照】

▶栃木県支部

支部長

渡辺 成美

卒業年度・学部

1984年度 体育学部

支部への連絡先

naru-w@tvoyama.ne.jp

2026年に栃木県支部会の開催を予定しています。ここ数年、活動らしい活動ができていませんでしたが、多くの会員が参加できるよう準備を進めてまいりますので、どうぞご協力ください。また、会員の活躍や現況を伝える情報などありましたら遠慮なくご連絡ください。

▶群馬県支部

支部長

阿部 浩一

卒業年度・学部

1989年度 文学部

支部への連絡先

abe@maebashiikuei-h.ed.jp

母校の素晴らしい活躍を大変嬉しく思っています。群馬県支部も母校発展の一助となれますよう、微力ながら貢献したいと考えていますが、現状、主だった活動はできていません。連絡の取れていない校友も多く、ぜひお声がけいただき、ネットワークをつないでいただければ幸いです。よろしくお願いします。

▶埼玉県支部

支部長

小島 正喜

卒業年度・学部

1972年度 体育学部

支部への連絡先

takeda.atsushi.63@spec.ed.jp (県学校部会長 武田)

2025年度も埼玉県支部校友会を開催予定で、その準備役員会を開きました。会員の高齢化や新規加入者の頭打ちなどにより、会への参加者も限られたメンバーとなってきましたが、毎年続けている行事です。ぜひ、これからも継続していきたいと思っています。

▶ 香川県支部

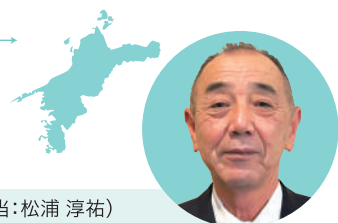
支部長	三好 利宏
卒業年度・学部	1984年度 体育学部
支部への連絡先	090-1574-9281



現在、香川県支部は活動らしい活動ができていませんが、会員同士、各方面でつながっていきたくと思っています。2年後には支部会を開催予定で、ぜひ多くの情報をお寄せいただくとともに、多数の会員の皆さまの参加をお待ちしております。よろしくお願いします。

▶ 愛媛県支部

支部長	定岡 孝明
卒業年度・学部	1980年度 体育学部
支部への連絡先	matsu.j.0327@ezweb.ne.jp (担当: 松浦 淳祐)



ここ数年、活動らしい活動ができていない状況です。今後は支部行事の活性化に向けて努力していきたくと考えておりますので、ご協力をお願いします。なお、愛媛県支部では会員の皆さまとの連絡方法の1つとして、県内LINEグループを立ち上げております。ぜひご参加いただけるようご連絡をお願いします。

▶ 高知県支部 イベント開催

支部長	尾木 文治郎
卒業年度・学部	1982年度 体育学部
支部への連絡先	090-3957-8233 (事務局 増田)



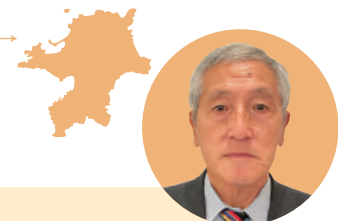
皆さまが気軽に集える校友会を目指し、会員の交流と拡大を図っています。2025年度は5月31日(土)に総会・支部会、6月1日(日)に梅村杯ゴルフコンペを予定しています。多くの皆さまの参加をお待ちしています。また校友会情報をお届けできるようSNSでの発信に取り組んでまいります。詳細は、事務局までお問合せください。

イベント 2025年5月31日(土)・6月1日(日) 予定

G九州・沖縄ブロック

▶ 福岡県支部

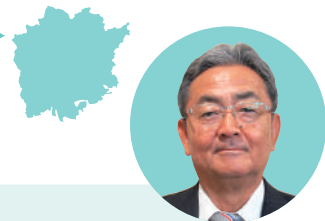
支部長	武尾 一三
卒業年度・学部	1969年度 体育学部
支部への連絡先	090-5725-5832 (SMS可)



福岡県支部では、年2回ほど10名程度が集まるミニ同窓会を開催していますが、県全体の支部会を開催できていません。次年度以降に開催するために、事務局と調整しています。校友の皆さまとお会いできますよう頑張ってまいります。

▶ 岡山県支部 イベント開催

支部長	福島 正春
卒業年度・学部	1972年度 商学部
支部への連絡先	icf52405@nifty.com

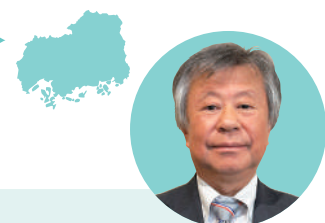


岡山県支部校友会は岡山・倉敷での交互開催で運営しています。2025年は岡山で開催します。気楽に参加できる校友会を目指して日々努力しています。本年は2025年9月27日(土)ピュアリティまきびにて、翌28日(日)は梅村杯ゴルフコンペを開催予定です。多くの皆さまに参加していただき、校友の絆を深めましょう。

イベント 2025年9月27日(土)・9月28日(日) 予定

▶ 広島県支部

支部長	高畑 伸穂
卒業年度・学部	1979年度 体育学部
支部への連絡先	nkoo21nk@yahoo.co.jp



9年ぶりとなる広島県支部会を2024年10月26日(土)、広島市にて開催しました。また校友の新たな絆づくりと情報の提供・交流を目的に、「中京大学校友会広島県支部LINE」を立ち上げました。多くの皆さまの参加をお待ちしていますので、不明点等はお近くの支部役員にお問い合わせください。今後も“未来志向”で取り組んでいきます。

▶ 山口県支部 イベント開催

支部長	浜岡 藤生
卒業年度・学部	1974年度 体育学部
支部への連絡先	083-259-8732



山口県支部として、活動らしい活動が何も出ていない現状を何とかせねばと思いながら月日が過ぎていきます。2025年10月25日(土)に山口県支部校友会を開催予定であり、この機会に新たな組織が出来れば幸いです。そのために会員の皆さまの協力が不可欠です。多数の参加をよろしくお願いします。

イベント 2025年10月25日(土) 予定【26ページ参照】

▶ 徳島県支部 イベント開催

支部長	武田 元成
卒業年度・学部	1990年度 社会学部
支部への連絡先	090-2892-0753 (SMS可)

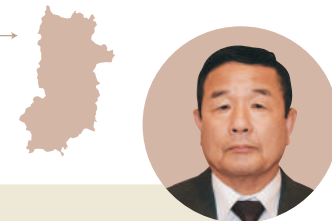


徳島県支部は2024年8月13日(火)、有名連「八千代連」のサポートを受けて阿波踊りに参加しました。今年度は梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ約10名の大学関係者にご参加いただきました。現在、支部の活動は阿波踊りのみですが、より多くの校友の皆さまと、阿波踊りを通して当支部を盛り上げていきたいと思っています。

イベント 2025年8月13日(水) 予定

▶ 奈良県支部

支部長	高見 喬宏
卒業年度・学部	1967年度 体育学部
支部への連絡先	0745-82-3426



コロナが5類に移行し、普段の諸活動が再開される中、奈良県支部においても支部会の再開を検討しているところです。開催に際しては旧交を温めるだけでなく、お互いのビジネスにも役立つような人脈づくりのできる会にしていきたいと考えています。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

▶ 和歌山県支部

支部長	藤村 利行
卒業年度・学部	1978年度 体育学部
支部への連絡先	ryu-1130-1230@outlook.jp (事務局長 久保隆作)

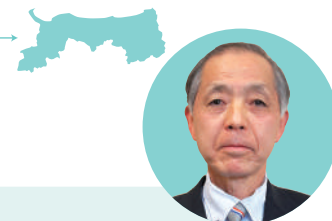


2025年、和歌山県支部は支部発足から60年目という節目の年を迎えます。和歌山県支部としては、幅広い世代の会員の方々に参加していただけるような取り組みを行いたいと考えています。皆さまの積極的なご協力とご参加を心からお願い申し上げます。

G中国・四国ブロック

▶ 鳥取県支部

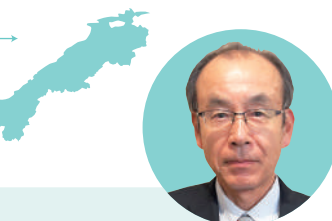
支部長	谷本 裕則
卒業年度・学部	1973年度 法学部
支部への連絡先	090-7127-1100 (SMS可)



2023年開催の支部会には多くの方に参加していただき、誠にありがとうございました。現在、LINEグループを作り、大学からのイベント情報などを共有しています。ただ、連絡が取れていない校友もたくさんおられます。ぜひお伝えしたい大学の情報などもありますので、未参加の方は私まで直接ご連絡ください。

▶ 島根県支部 イベント開催

支部長	坂本 弘
卒業年度・学部	1984年度 体育学部
支部への連絡先	080-2893-2551 (事務局 佐藤 城)



今年度は念願の島根県支部会を単独開催することができ、校友会事務センターから4名の皆さまをお招きして大いに盛り上がりました。次年度も開催して欲しい、という参加者の声を多くいただき、次回は2025年9月中旬頃の開催に向けて準備を進めていきたいと思っています。どうぞ多くの皆さまの参加をお待ちしております。

イベント 2025年9月27日(土) 予定

▶ 滋賀県支部

支部長	梅村 忠生
卒業年度・学部	1978年度 商学部
支部への連絡先	te-matsu@zeus.eonet.ne.jp (事務局 松永 哲也)



2024年度は数年ぶりに支部会を開催しました。2025年度は滋賀県で「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」が開催されます。滋賀県支部では役員・監督・コーチ・選手など多くの会員が活躍してくれると思います。また全国各地から校友も参加されます。支部として皆さまの応援をするとともに、懇親を深めることができればと考えています。

▶ 京都府支部

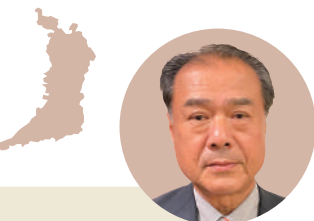
支部長	池本 敬博
卒業年度・学部	1978年度 体育学部
支部への連絡先	iketurn@meiji-u.ac.jp



校友会の発展と活性化を目指し、会員間の連絡や情報などをタイムリーにお届けできるよう、その一環としてLINEアカウントの登録活用を考えています。中京大学卒業のご縁を大切に、校友の輪を広げて「和合」を深めてまいりましょう。皆さまの温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

▶ 大阪府支部

支部長	中岡 英彦
卒業年度・学部	1976年度 体育学部
支部への連絡先	090-9625-1983



大阪府支部は、残念ながらコロナ禍発生当初より支部会を開催できておりません。そこで役員会を再編、皆で相談し、2025年度の開催を目指して準備をはじめました。会員の皆さまには長らくお待たせして申し訳ありませんが、詳細が決まり次第、ご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

▶ 兵庫県支部 イベント開催

支部長	井内 義延
卒業年度・学部	1969年度 体育学部
支部への連絡先	suga793906@outlook.jp (事務局 菅原 勝則)



8月31日(土)、台風により出席予定の約半数(38名)で総会を開催。今期より役員の連絡はLINEを活用しており、会員数の拡大を図っています。2025年11月15日(土)には、神戸市で開催される近畿ブロック支部長会に合わせて兵庫県支部会を開催予定です。阪神・淡路大震災から30年という節目の年、会員相互の絆の重要性を改めて強く感じています。

イベント 2025年11月15日(土) 予定【26ページ参照】

海外支部

▶ オーストラリア支部

支部長

平原 照仁

卒業年度・学部

1989年度 社会学部

支部への連絡先

teruhito.hirahara@gmail.com



▶ 中華民国(台湾)支部

支部長

黄 文成

卒業年度・学部

1981年度 体育学部

支部への連絡先

lines@yuntech.edu.tw
(事務局 林 恩賜)



▶ カナダ支部

支部長

林 大輔

卒業年度・学部

1993年度 体育学部

支部への連絡先

noppaseiji@hotmail.com
(事務局 野原 誠治)



▶ アメリカ合衆国支部

支部長

立川 正孝

卒業年度・学部

1966年度 商学部

支部への連絡先

iida.uni@gmail.com (飯田)



▶ アメリカ合衆国東部支部

支部長

大場 邦明

卒業年度・学部

1965年度 商学部

支部への連絡先

kuniakiNY108@gmail.com



▶ 宮崎県支部 イベント開催

支部長

坂田 洋一郎

卒業年度・学部

1974年度 体育学部

支部への連絡先

090-2718-9660(SMS可)

2025年11月8日(土)に大学関係者をお迎えし、九州・沖縄ブロック支部長会および宮崎県支部会を宮崎市で開催する予定です。大学からも多数ご参加いただき、大きく発展した母校の今と未来についてお話を伺えるまたない機会です。ぜひともご参加いただき校友の絆を深めませんか。お待ちしております。

イベント 2025年11月8日(土) 予定【26ページ参照】

▶ 鹿児島県支部 イベント開催

支部長

肥後 六男

卒業年度・学部

1970年度 商学部

支部への連絡先

080-4691-6407

2024年9月、昨年度に続き鹿児島県支部校友会を開催しました。今年は若い人材の登場で連絡網の構築を図るとともに、校友会での催しの提案と充実を考えています。2026年に九州・沖縄ブロック支部長会および鹿児島県支部会を開催予定です。それまでに組織の活性化を進めて参りますので、皆さまのご協力をよろしくお願いします。

イベント 2025年11月1日(土) 予定

▶ 沖縄県支部

支部長

大城 良孝

卒業年度・学部

1974年度 体育学部

支部への連絡先

098-987-2119

台風接近や新型コロナウイルス感染症の流行等による中止以来、休会となっていた沖縄県支部校友会を2025年2月に開催しました。7年ぶりとなって、心待ちにしていた会員と大いに盛り上がりました。今後も会員同士の再会をさることながら、校友会本部から本学の最新情報を得る機会になることも期待しています。

▶ 佐賀県支部

支部長

佐保 文明

卒業年度・学部

1970年度 体育学部

支部への連絡先

090-7539-5683(佐保携帯番号)

2024年11月9日(土)の九州・沖縄ブロック支部長会・佐賀県支部会では大変お世話になりました。佐賀県支部の会員も大いに喜んで参加してくれました。校友の皆さま今後ともよろしくお願いします。

▶ 長崎県支部 イベント開催

支部長

山野 和則

卒業年度・学部

1980年度 体育学部

支部への連絡先

090-7581-5158(SMS可)

長崎県支部は2026年に設立50周年を迎えます。1977年に体育学部の有志3名でスタートした本会も参加者が少しずつ増え、会員の輪が県内各地で広がりました。過去には、会員による講和や還暦祝いのイベントなどを行い、学部の枠を越えて繋がりを深めてきました。設立時の熱い志に思いを馳せ、皆で盛りあげていきましょう。

イベント 開催予定有り

▶ 熊本県支部

支部長

陶山 三千也

卒業年度・学部

1978年度 体育学部

支部への連絡先

suyama.michiya8@gmail.com

2027年には九州・沖縄ブロック支部長会および熊本県支部会が開催される予定です。2025年もしくは2026年には熊本県支部会を開催したいと考えています。会員の年齢は幅広いですが、会場にお越しくだされば、世代を超えて中京大学での思い出話に花が咲くはずですよ。県内にお住まいの校友の皆さま、ぜひとも足をお運びください。

▶ 大分県支部

支部長

森本 秀治

卒業年度・学部

1971年度 体育学部

支部への連絡先

090-9656-3188(SMS可)

近年、母校の充実・発展につながる校友会の世界的な活躍を誇らしく感じています。本県の在学生数も、福岡県・沖縄県に次ぐ人数となり、日々勉強・スポーツに励まれていることを嬉しく思います。世代や学部を超え、多くの校友の皆さまによる新しい支部組織づくりへのご協力を心よりお願い申し上げます。

▶ 校友会インフォメーション | ブロック別支部長会・支部校友会 開催予定(2025~2031年度)

ブロック	都道府県名	会員数 (住所判明者)	西暦						
			25	26	27	28	29	30	31
北海道・東北7道県	北海道	528				○			
	青森	130							○
	岩手	124					○		
	宮城	124	○						
	秋田	145			○				
	山形	120		○					
	福島	151						○	
関東7都県	茨城	249	○						
	栃木	193		○					
	群馬	323					○		
	埼玉	396				○			
	千葉	439						○	
	東京	715			○				
	神奈川	544							○
中部8県	新潟	535					○		
	富山	1,767		○					
	石川	1,578			○				
	福井	1,450							
	山梨	260						○	
	長野	1,904				○			
	岐阜	9,707	○						
	静岡	5,228							○

※各都道府県支部校友会は、原則として7年に1度の開催になります。

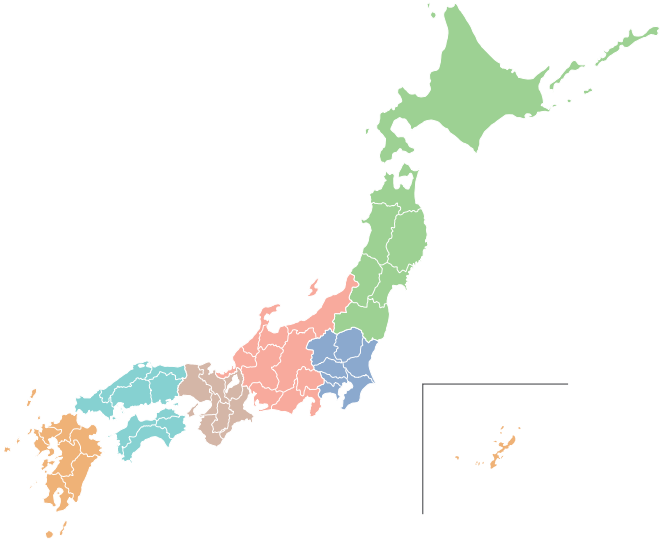
○・・・ブロック別支部長会 住所判明者は2024年11月現在

ブロック	都道府県名	会員数 (住所判明者)	西暦						
			25	26	27	28	29	30	31
近畿7府県	三重	8,095							○
	滋賀	1,480				○			
	京都	923						○	
	大阪	1,267		○					
	兵庫	2,118	○						
	奈良	450			○				
	和歌山	751					○		
中国・四国9県	鳥取	434						○	
	島根	498					○		
	岡山	963							
	広島	1,166							○
	山口	536	○						
	徳島	715		○					
	香川	801			○				
	愛媛	682				○			
	福岡	540						○	
九州・沖縄8県	佐賀	209							○
	長崎	285				○			
	熊本	236			○				
	大分	290					○		
	宮崎	311	○						
	鹿児島	341		○					
	沖縄	340							

▶ 2025年度 ブロック別支部長会及び支部会開催予定(校友会事務センター共催分)

地区	支部	開催日	開催地	会場	住所	アクセス	電話番号
北海道・東北	宮城県	10月4日	仙台市	仙台国際ホテル	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-6-1	JR仙台駅西口から徒歩5分	022-268-1111
関東	茨城県	10月11日	水戸市	水戸三の丸ホテル	〒310-0011 水戸市三の丸2-1-1	JR水戸駅北口から徒歩2分	029-221-3011
	岐阜県	10月18日	岐阜市	岐阜グランドホテル	〒502-8567 岐阜市長良648	JR岐阜駅から車で約15分	058-233-1111
中国・四国	山口県	10月25日	山口市	山口グランドホテル	〒754-0021 山口市小郡黄金町1-1	JR新山口駅新幹線口から徒歩3分	083-972-7777
九州・沖縄	宮崎県	11月8日	宮崎市	宮崎観光ホテル	〒880-8512 宮崎市松山1-1-1	JR宮崎駅西口から徒歩20分 ※車で約5分	0985-27-1212
近畿	兵庫県	11月15日	神戸市	ANAクラウンプラザホテル神戸	〒650-0002 神戸市中央区北野町1	JR新神戸駅直結	078-291-1121

※ブロック別支部長会の基本的な開催時間は16時~17時50分、支部会開催時間は18時~20時になります。





六月一日(土)、高知会館で「高知県支部総会・支部会」を催しました。翌二日(日)には、恒例の「梅村杯争奪ゴルフコンペ」を土佐山田ゴルフ倶楽部にて開催。開学七〇周年を祝って多くの校友が参加し、コロナ後最多となるハグループでラウンドしながら、楽しく交流を深めました。

二〇二五年度の総会・支部会は五月三十一日(土)、ゴルフコンペは六月一日(日)に予定しています。多くの会員の皆さまの参加をお待ちしています。また、SNSでの情報共有と発信に取り組み、校友会情報をお届けしています。詳しくは、事務局までお問合せください。



高知県支部

都道府県支部



徳島県支部

都道府県支部



八月十三日(火)、有名連「八千代連」のサポートを受けて、夏の恒例行事となりました阿波踊りに参加しました。今回は梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ、校友会本部の方々にもご参加をいただき、総勢七十名という大所帯で二カ所の演舞場に踊り込み、大いに盛り上がることができました。

徳島県支部では、阿波踊りへの参加を毎年八月十三日と決めています。今後、さらに多くの皆さまにご参加をいただき、この阿波踊りを盛り上げていきたいと思っていますので、ぜひお気軽にお声がけください。



兵庫県支部

都道府県支部



八月三十一日(土)、「兵庫県支部総会・支部会」は台風の影響を受けて前日から新幹線が計画運休、在来線も運休か運行本数を削減する中、何とか開催することができました。

台風通過という悪条件にも関わらず、兵庫県下三十八名の会員が参加してくださり、二時間半という短い時間ではありましたが、会員の親睦を大いに深めることができました。各テーブルでは、懐かしい話や新しい話題に花が咲き、アツという間の閉会となっていました。

また兵庫県支部のLINEグループも立ち上げましたので、ぜひお問い合わせ(二十三ページ参照)ください。



北海道支部

都道府県支部



九月十五日(日)「北海道支部校友会」を札幌市で開催し、総勢四十名の出席がありました。

梅村清英総長・理事長、中京大学長、竹尾悟校友会副会長、寺尾莊平校友会事務センター長をはじめ、八名のご出席をいただきました。また梅村学長からはご祝辞を賜りました。

支部会には、剣道部師範の林邦夫中京大学名誉教授のご出席もあり、剣友会の仲間が多く集まりました。翌日のゴルフコンペは爽やかな天候にも恵まれ、十二名がプレーを楽しみました。

REPORT

「校友会」開催報告

全国でのブロック別支部長会をはじめ、支部会や新たに設立された部会など、2024年度は各国・各地域でコロナ禍以前のような活動が繰り広げられました。



法学部

学部・研究科



法学部校友会では、中京大学・名古屋キャンパスにて、十一月三日(日)、檜山幸夫名誉教授をお迎えして講演会と懇親会を、さらに十二月七日(土)には現役法学部生との交流イベント「お仕事フェア」を法学部学生団体(CSC)と共同で開催しました。いずれのイベントも多くの卒業生と在学生が参加し、世代を超えた親睦と交流を深めました。

法学部校友会は、今後も卒業生同士の交流や在学生との結びつきを強化し、中京大学のさらなる発展に寄与していく所存です。



文学部

学部・研究科



十一月三十日(土)、二〇二四年度中京大学文学部校友会をホテル名古屋ガーデンパレスで開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大で、開催は五年ぶり。当日は富山県や鹿児島県など、遠方からも校友が駆けつけ、大学関係者を含め約五十名が参加して懇親を深めました。

会の冒頭、文学部校友会の柳沢昌紀会長、来賓を代表して梅村清英総長・理事長、中京大学長よりそれぞれ挨拶があり、佐藤隆名誉顧問の乾杯の挨拶で懇親会が開宴。なごやかな雰囲気の中で歓談が進み、最後は全員で学歌を斉唱し、寺尾莊平副会長の挨拶で閉会となりました。



中華民国(台湾)支部

海外支部



九月七日(土)、台湾・台北市にて「台湾支部校友会」を開催しました。

黃文成支部長による開会のご挨拶のあと、来賓を代表して梅村清英総長・理事長、中京大学長から祝辞を賜りました。母校の現状と将来構想についてのお話は参加者一同、興味津々。そして乾杯のご発声を中京大学スポーツ科学部長の種田行男校友会副会長よりいただき、祝宴が始まりました。

今回、現地の校友は二十名、大学関係者は七名が参加。陳全寿先生の誕生日(八十四歳)のお祝いで超特大ケーキが登場すると、会はずらに盛り上がり歓談が尽きませんでした。

九月二十二日（日）、松江市内のホテルにおいて、念願でありました支部会の単独開催をようやく実現できました。当初、何名の方にお集まりいただけるか心配でしたが、最終的に二十七名の皆さまにご参加いただき盛大に開催することができました。

支部会では、二〇二四年一月に開催された島根県スポーツ協会創立一〇〇周年記念式典において、スポーツの普及・振興に尽力された四名の会員が特別表彰されたことが紹介されました。その後、それぞれ近況を話しながら楽しい時間を過ごすことができました。



九月二十八日（土）、昨年度に続き梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ竹尾副会長、大学関係者にもご参加いただき「鹿児島県支部会」を開催しました。

まず大学の現状のDVD上映では、躍進躍動する母校の姿に感動し、未来への希望のページを見た思いでした。その後、出席者代表の挨拶、乾杯の音頭、宴席と移り、それぞれ思い出話や近況報告、情報交換など大いに盛り上がり、笑顔と笑い声が絶えない有意義な会となりました。最後は全員で学歌を声高らかに斉唱し閉会となりました。その後は有志による二次会も開催しました。



九月二十八日（土）、倉敷アイビースクエアにて「岡山県支部校友会」を開催しました。校友会本部より森谷敏夫顧問、鈴木揚一副会長、寺尾莊平校友会事務センター長、今村陽一課長補佐のご臨席を賜りました。

また、翌二十九日（日）は「鷺羽ゴルフ倶楽部」にて梅村杯ゴルフコンペを開催。天候にも恵まれ、和気あいあいと語り、終始なごやかなムードで大いに親睦を深めました。梅村杯の栄冠に輝いたのは初出場の今村課長補佐で、爽やかな初秋の一日を皆さまと共有させていただきました。

二〇二五年度は岡山市で開催予定です。皆さまの参加をお待ちしています。



十月五日（土）、八戸パークホテルにて「北海道・東北ブロック支部長会および青森県支部会」を開催しました。

大学関係者からは地元・八戸市出身の内田理事、相羽校友会長をはじめ八名のご来賓の皆さま、そして各県支部長をお迎えし、青森県支部のメンバー総勢二十八名が参加。

開学七〇周年を迎え、さらなる飛躍を目指してさまざまな取り組みが進行中、とご挨拶をいただきました。懐かしい思い出や近況を語りあいながら親交を深め、学歌を斉唱し、再会を誓って閉幕しました。



十月十二日（土）、新横浜プリンスホテルにて「関東ブロック支部長会および神奈川県支部会」を開催しました。支部会の参加者は一九六八年度卒から二〇一九年度卒と年齢も幅広く、会の冒頭に上映された「中京大学今昔」のDVD映像を参加者全員、食い入るように観ているのが印象的でした。かつて在学していた当時の様子から現在の姿へ、その移り変わりに驚いた表情も見られました。

その後、世代や学部、所属した部活動に関係なく、大いに盛り上がり、最後は全員で肩を組みながら学歌を斉唱してお開きとなりました。



十月十九日（土）、ホテルアソシア静岡にて「中部ブロック支部長会および静岡県支部会」を実施しました。参加者は男性十七名、女性七名の二十四名でした。卒業学科は体育十一名、法律六名、商、経営、国文、健康教育、認知科、情報メディア工、スポーツ教育が各一名でした。久しぶりに三十代前半の若者が二名参加してくれたおかげか、これまで以上に話題も広がり大いに盛り上がりました。

また十二月十三日（金）には、西野さまを中心とする女性部会がLINE連絡によりつながり、静岡松坂屋梅の花で支部会が催されました。



十月二十六日（土）、中国・四国ブロック支部長会を機に九年ぶりとなる「広島県支部会」を開催しました。当日は梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ、大学関係者をお迎えして、総勢五十名が学生時代に戻って旧交を温める会となりました。

開会にあたって学園創立一〇〇周年、大学開学七〇周年を祝い、参加者一同から教育活動支援金目録を贈呈しました。立ち止まることのない挑戦と改革が続けられる母校のさらなるご発展を祈念します。

校友の皆さま、またお会いできる日を楽しみにしています。



十月二十六日（土）、セントラルホテル佐世保において「長崎県支部校友会を開催しました。

大学関係者として各務豪紀付部長、今村陽一課長補佐にもご参加いただき、夜遅くまで旧交を温め親睦を深めました。

総会では二〇二六年開催予定の「長崎県支部校友会結成五〇周年記念式典」について活発な意見交換をし、記念式典の成功に向けて結束して取り組むことを確認しました。二〇二五年の支部校友会は、長崎市で開催予定です。五〇周年記念式典について多くの会員の皆さまと意見交換ができればと願っております。



滋賀県支部

十月二十六日(土)、二〇一九年以来となる「滋賀県支部総会・支部会」を開催しました。コロナ禍で活動が止まっていたこともあり、二十名弱の参加にとどまりましたが、これをきっかけに次年度以降も活動を実施したいと考えています。

また今回は若い世代など、初めて参加する人も多く、次年度以降の会の在り方について再考する良い機会となりました。

支部会では梅村支部長の挨拶から永井副支部長の乾杯と続き、自己紹介後、終始なごやかなムードで学生時代の思い出話や近況などを語り合いました。最後は学歌を斉唱し、次年度の再開を約束して会を閉じました。



佐賀県支部

十二月九日(土)、「九州・沖縄ブロック支部長会および佐賀県支部会」が開催されました。大学関係者のみならず、県内から多数の会員にもご参加いただき、楽しい時間を過ごすことができました。コロナ禍において交流イベントも中止を余儀なくされていましたが、これを機に、会員から次年度も支部会を開催したいとの声が高まりました。

そのため役員会では二〇二五年度支部会の開催実施に向けて努力していこうと一致したところです。ぜひ多くの校友の皆さまと旧交を温めたいと思います。つきましては連絡の取れない会員の情報提供など、何卒ご協力ください。



三重県支部

十一月十六日(土)、津市のプラザ洞津にて、近畿ブロック支部長会と合わせて「三重県支部会」を開催しました。

当日は支部でのイベントを企画。まずは出席者の皆さまに地元の子供たち、および三重高校ダンス部によるダンスパフォーマンスを楽しんでいただきました。その後の支部会には、相羽由光校友会会長をはじめとする十一名の大学関係者に加え、近畿ブロック各支部長にご臨席いただくとともに、校友の皆さまによる三味線・ハーモニカ演奏などが披露され大変盛会となりました。



宮城県支部

十一月十六日(土)、前支部長千葉道博氏の慰労会と佐藤幸博新支部長の就任祝いを兼ねた「宮城県支部校友会」を仙台市内で行いました。八名と少人数でしたが、全員とまんべんなく話せ、中身の濃いひとときを過ごすことが出来ました。

二〇二五年度は千葉前支部長の千葉農園にて春のブルーベリー摘み、秋には大根掘り体験の行事を予定しています。もちろん、地元・仙台市開催の全日本大学女子駅伝の応援もスケジュールに組み入れています。

コロナも落ち着きました。「集合！」の声がかかった際にはどうぞよろしくをお願いします。



宮崎県支部

二〇一九年度に約五十名の会員が集い、宮崎県支部会を行いました。以後コロナ禍で開催できず、二〇二三年十月二十八日(土)に十五名程度の幹部会を経て、二〇二四年十月十九日(土)、五年ぶりとなる「宮崎県支部総会・支部会」を宮崎駅近くのホテルニューウェルシティ宮崎で実施しました。

三十名弱とやや少ない参加でしたが校友の絆を深めることができました。また、役員改選や組織の在り方、次年度に本県で開催予定の「九州・沖縄ブロック支部長会および宮崎県支部会」に向けて、幹部会を中心に参加の気運づくり等を確認し、盛会のうちに終了しました。



長野県支部

十一月三十日(土)、「長野県支部会」を松本市で開催しました。参加者は十四人と昨年度より少し減ってしまいましたが、中京大学今昔のDVD鑑賞をしたり、学歌を久しぶりに聞いて、心がまた大学時代に戻った気がしました。

大学を卒業しても、異世代の卒業生が中京大学という共通のキーワードでつながっている。異世代の卒業生が校友会でつながる、ということを新たに感じながら会を閉じました。

「来年もまたやりましょう！」の声があり、さっそく日程も決めて散会しました。



熊本県支部

熊本県北部に位置する城北会では、十一月三十日(土)、山鹿の「彩座」において忘年会を開催しました。参加者は六名と、年末は多忙であること、体調を崩される先輩諸氏の多いことがうかがわれているの催しとなりました。

今回は四十歳代、五十歳、六十歳、七十歳代と各年代が集い、近況報告やさまざまな話題で盛り上がりました。県内ではインフルエンザや新型コロナウイルス感染症の流行の兆しもみられる中、駆け込み忘年会も多く、我々も二〇二四年の辰年を締めくくる会となりました。次回は巳年、脱皮・成長の年と考え、熊本県全域で進化していきたいと思えます。



福井県支部

十二月七日(土)、約三十名の皆さまにご参加いただいて「福井県支部総会・支部会」が盛大に行われました。

講演会においては、青戸慎司先生にパリオリンピックでの思い出や川端魁人選手の活躍、長所を褒める指導者の心得などを教えていただきました。

また、支部会に初めて参加した三名の自己紹介でも盛り上がりました。来年度は、十二月六日(土)の開催予定ですが、校友のつながりを大切にして声を掛けあい、参加人数増加を目指して盛り上げていきたいと思えます。

初参加の方を大いに歓迎します。みんなで校友会を楽しんでいきましょう。一人でも多くの参加を待っています。



石川県支部

「第十八回石川県支部会」を十二月七日(土)、金沢市において開催しました。昨年は元日の震災により、当初は開催を考えることすら出来ませんでした。五月頃には「半年後ならば実施出来るのではないか」と思うようになり準備を進めました。最終的に二十六名の参加となり、無事開催の運びとなりました。

支部会に先立ち、中京大学教授の高橋繁浩校友会副会長から「パリオリンピック報告」と題してご講演いただき、見識を深めたところです。

今後は学校部会のための運営とならないよう、新たな支部会発足に向けて取り組んでいきます。



名古屋市中(八豊会)総会

五月十七日(金)、中京大学・名古屋キャンパスにおいて、名古屋市教職員で構成している「八豊会」の総会並びに懇親会を開催しました。

総会終了後に開催した懇親会では、ご来賓として、梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ、多くの大学関係者にご参加いただき総勢五十五名の会となりました。

会場では、各職場の情報交換や個人の近況報告など、多種多様な話ができ、大いに盛り上がりとともに、充実したひとときを過ごすことができました。今後も校友とともに力を合わせていきたいと考えています。



愛知県学校部会尾張地区

七月二十日(土)、名古屋駅前「ポロとワイン」にて「愛知県学校部会尾張地区」が開催されました。校友会事務センターより寺尾莊平センター長、今村陽一課長補佐をお迎えして、総勢十六名での開催となりました。

校友会の組織変更にもない、学校部会尾張地区としては、この会をもってひとつの区切りとなりました。これまで支えていただいた諸先輩方の思い出話に花が咲き、最後は参加者一同、肩を組み合わせながら学歌を斉唱。大盛況のうちに幕を閉じました。



愛知県学校部会豊田・みよし地区

七月二十六日(金)、五年ぶりに開催することができました。梅村清英総長・理事長、中京大学長や安村仁志校友会顧問をはじめ、十二名の大学関係者の皆さまや七名の顧問の皆さまにご来賓としてご臨席いただきました。

久しぶりの開催でしたが、会員五十六名が参加し盛会となりました。とくに令和時代卒の若い教員が多く参加したことで、コロナでつながりが弱くなりつつあった会で強い絆が結ばれ、若い世代に引き継がれたことを確信しました。

最後は、若手を中心に全員で学歌を斉唱し、熱の入った万歳三唱で会を締めくくりました。



愛知県学校部会特別支援教育部会

九月十四日(土)、ホテルルブラ王山にて「愛知県学校部会特別支援教育部会総会・懇親会」を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により飲食を伴う会は中止となりましたが、今年度は四十二名の校友が集い、にぎやかに親睦を深めることができました。

会場のあちらこちらで話に花が咲き、時間が足りないと感じるほど大いに盛り上がりました。

学歌斉唱では「ひさしぶり!」の声もあれば、「楽しい会でした!」と笑顔を見せる初参加の校友の姿もありました。今後ますます、「この『つながり』が広がることを願っています。」



北海道支部学校部会

十二月三十日(土)、第十六回学校部会「ホテルポールスター札幌」で開催しました。大学からスポーツ科学部の草薙健太准教授、校友会事務センターから曾根直樹センター長補佐、各務豪紀付部長の出席を賜り、会員十一名が参加。大学関係者のパリオリンピックでの活躍ぶりや会員の現況を報告し合うとともに、今後も学校部会としての活動を継続していくことが確認されました。

開催地の札幌から215kmも離れた道北地方(名寄市)からも出席者があり、楽しいひとときになりました。都合がつかず参加できなかった会員の皆さまも次回、お会いできますことを楽しみにしています。



愛知県学校部会知多地区

二〇二五年一月二十九日(水)、半田市福祉文化会館内レストランにて「愛知県学校部会知多地区」を開催しました。

総会につづき懇親会が開催され、大学からはスポーツ科学部准教授後藤晃伸様をはじめ四名の方々にご出席いただくとともに、校友生四十二名が参加し親睦を深めました。

当地区会は普段同じ地域で働きながらも小学校・中学校・高等学校の教員が一堂に会し交流できる機会が少ないことから大変貴重な情報交換の場となっており、今後も毎年の恒例行事として継続して開催していきたいと考えています。これまで参加できなかった方からの参加もお待ちしております。



アドバイザーの会〈関東地区〉

中京大学在学中、学生の就職活動を支援する「学生アドバイザー」を務めた卒業生により、「中京大学校友会アドバイザーの会〈関東地区〉」を設立しました。

七月二十七日(土)には、その記念すべき第一回を東京銀座にて開催しました。

今回は大学関係者を含め合計二十一名が出席しました。本会は社会に出て一層活躍されている校友同士で交流を深め、卒業後もビジネスの活性化などにつなげていくことが狙いです。これから毎年、定期的に開催し、さらなる規模拡大を目指していく予定です。



校友会員の栄典・栄誉

2022年度、2023年度、2024年度もまた多くの校友の皆さまが
長年のご功労、ご功績をたたえられ叙勲や表彰の栄に浴されました。

令和4年度 秋

瑞宝双光章

1970年度 法学部卒 渡邊 隆司さん



卒業後は約50年、造船技師として勤務し、家族や勤務先の理解を得て、地域の自治会長活動中に保護司の委嘱を受けました。その後も地域振興と青少年犯罪の減少を目指し、旧安浦町議(3期)、呉市自治連・市防犯連等の要職、市青少年補連協会会長などを通じて青少年の育成活動に努めました。今回の受章は多くの皆さまのご支援のおかげと感謝しています。

令和5年度 春

瑞宝単光章

1972年度 商学部卒 小谷 俊英さん



叙勲の栄誉に際し、お世話になった多くの方々に感謝を申し上げます。鳥取県警察官として34年間の在職中、5ヶ所の駐在所員を務め、皆さんと良好な関係をもって平穩に過ごされました。また最高裁案件にも携わる良き経験もしました。残る余生は穏やかに暮らせたらと思います。

令和6年度 春

瑞宝小綬章

1975年度 体育学部卒 佐藤 正敏さん



公立高校保健体育教員、岡山国体選手強化部長、県教育庁保健体育課長、スポーツ振興課長、校長(高体連会長)を歴任し、スポーツ振興に携われたことをたいへん嬉しく思います。お世話になった皆さまのおかげで今回の受章につながったと感謝しています。

令和6年度 春

瑞宝双光章

1972年度 体育学部卒 木村 義二さん



令和6年度春の叙勲において、「瑞宝双光章」受章の栄を賜り、身に余る光栄に存じます。これも中京大学で学んだ「真剣味」が私の人生すべての礎となり、今日を迎えることができました。私を支えていただいた多くの皆さまに心より感謝を申し上げます。

令和6年度 秋

旭日双光章

1975年度 体育学部卒 且見 公順さん



福光町議会議員から町村合併により南砺市議会議員、のちに市議会議長を務め、6期20年の議員活動による栄誉となりました。中京大学および富山県支部より心温まるお祝いをいただき恐縮しております。今後もこの経験を活かし、地方発展の一翼となれますよう貢献してまいります。

令和6年度 秋

文部科学省 生涯スポーツ功労者 表彰

1968年度 商学部卒 豊田 利一さん

今回の表彰を受け大変光栄に感じています。高校時代、陸上競技800mリレーで全国優勝し中京大学へ。毎日の練習から得た教訓は実社会でも役立ち、今ある自分に誇りを持つことができます。三重陸上競技協会顧問、亀山市スポーツ協会会長を務め、若い世代の育成に頑張りたいと思います。



令和5年度 春

瑞宝双光章

1963年度 商学部卒 池本 要さん



中京大卒初の宮崎県公立学校教諭として勤務し、定年退職後は私立学校職員、社会教育関係団体等に関わりました。受章は身に余る光栄と感謝しています。現在84歳。NPO法人「家庭・青少年教育ネットワーク」の理事長を務め、子どもたちの笑顔を力にまだまだ頑張りたいと考えています。

令和6年度 春

瑞宝小綬章

1967年度 体育学部卒 簗島 茂樹さん



母校では相撲部に入部。卒業後は岐阜県公立学校教員となり、高校で相撲部監督を務め、全国大会や国体にも出場しました。郡上相撲クラブの設立、全国高体連の委員や審判を務め、校長を定年退職後は県相連、評議会役員、名誉会長などを歴任。すべてまわりの方に感謝しています。

令和6年度 春

瑞宝双光章

1962年度 体育学部卒 神戸 行弘さん



中京大学を卒業後、小・中学校で長年勤めあげ、その後は愛知県教育委員会で採用試験等の業務に従事しました。奉職から校長職に至るまでの長きにわたり、多くの皆さまに支えていただきましたこと、今回の受章とともに感謝の気持ちでいっぱいです。

令和6年度 春

瑞宝双光章

1973年度 商学部卒 籠田 徹さん



大学を卒業後、和歌山県警察官を拝命し、在任中は主として暴力団の取締りに従事。刑事部組織犯罪対策課暴力団対策室長の務めを最後に、37年間にわたる警察官生活にピリオドを打ちました。退職後は和歌山市内の総合リゾート会社に役員として在職し、現在に至っています。

令和6年度 秋

瑞宝単光章

1978年度 文学部卒 福田 貴久夫さん



今回の受章は、名古屋市消防局に在職した35年間のうち、そのほとんどを査察、違反処理などの予防業務に従事、市民が安全、安心に暮らせるまちづくりに務めてきたことをご評価いただいたものと思っています。今後も、何かの形で社会貢献できたらと考えています。



四月二十二日(月)～二十八日(日)、名古屋市民ギャラリー栄にて「第二十二回中京大学美術部OB・年輪会展」を開催しました。
出品者九名で油絵・水彩画・写真作品の計四十三点を出展。どの作品もレベルの高い作品ばかりで、梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ六九〇余名の来場者から高い評価をいただきました。二十一日(日)には総会・親睦会を、嘉文栄本店で九名の出席にて行いました。
第二十三回展も同会場にて二〇二五年四月二十三日(水)～二十八日(月)に開催予定です。校友・大学関係者からの出品を心よりお待ちしております。



九月七日(土)、「スキー競技部OB・OG会総会および親睦会」を名古屋キャンパスと木曽路八事店で五年ぶりに開催。当日は前スキー競技部長で第七代学長の北川薫名誉教授、現スキー競技部長の來田享子教授、オリンピックの伊藤みきさんにもご出席いただきました。
総会では、大学や部の近況が共有され、今後とも支援していくことを確認。その後、現役部員の役職者も加わって、卒業生と現役部員とが交流できる良い機会となりました。
今後はコロナ禍前のように毎年開催予定です。今回参加できなかった皆さまもぜひご参加ください。



九月十六日(祝)、元ユースホステル部員による親睦会を開催しました。既にクラブは廃部となっており、この「四三二一会」は六十代以上の有志による集まりです。当日は十七名、前夜祭は八名で、昭和四十一年度卒から五十四年度卒の校友で盛り上がりました。また、今回も安村仁志名誉教授にご参加いただきました。かつて多くのユース部員が安村先生のロシア語の授業を受けており、部の行事のオープンキャンプにお誘いしたことが先生とのご縁です。
本会は年一回ほど実施する有志の会ですので、元ユースホステル部の校友の参加をお待ちしています。



十一月三十日(土)、「中京清球会総会・親睦会」を名古屋ガーデンパレスにて開催しました。
来賓の梅村義久副学長はじめ、二十代から四十代を中心に総勢百二十八名の校友が参加しました。今年度より、全国一位となった監督・コーチ・選手を表彰しました。また、引退した四年生より就職報告・決意表明、新キャプテンより次年度に向けての抱負等が述べられ、一致団結してサポートすることを皆で確認しました。
本イベントは毎年開催予定です。今回参加できなかった皆さまもぜひご参加ください。

2023年度 中京大学校友会 決算報告書

会計期間：2023年4月1日～2024年3月31日

収入			支出		
勘定科目	金額		勘定科目	補助科目	金額
前期繰越金	565,665,307	円	各会開催費		16,661,414 円
校友会費	263,970,000	円	開催支援費		2,561,630 円
受取利息	4,981	円	奨励費	課外活動奨励金	4,600,000 円
雑収入	447,163	円		課外活動援助費	1,170,000 円
以下余白			旅費交通費		12,061,159 円
			通信運搬費		28,117,879 円
			印刷製本費		6,291,044 円
			支払報酬手数料		6,345,123 円
			関係者贈答費		13,320,118 円
			交際費		298,174 円
			会議費		47,541 円
			租税公課		760 円
			新聞図書費		0 円
			広告宣伝費		632,700 円
			消耗品費		442,051 円
			雑費		0 円
			諸会費		4,125 円
			寄付金	校友会奨学費	80,640,000 円
				大学設備整備事業支援費	10,000,000 円
			予備費		199,210 円
			次期繰越金		646,694,523 円
合計	830,087,451	円	合計		830,087,451 円

2024年度 中京大学校友会 予算報告書

会計期間：2024年4月1日～2025年3月31日

収入			支出		
勘定科目	予算額		勘定科目	補助科目	予算額
前期繰越金	646,694,523	円	各会開催費		18,000,000 円
校友会費	270,145,000	円	開催支援費		3,000,000 円
受取利息	5,000	円	奨励費	課外活動奨励金	5,000,000 円
雑収入	0	円		課外活動援助費	1,500,000 円
以下余白			旅費交通費		15,000,000 円
			通信運搬費		35,000,000 円
			印刷製本費		20,000,000 円
			支払報酬手数料		12,000,000 円
			関係者贈答費		14,000,000 円
			交際費		500,000 円
			会議費		100,000 円
			租税公課		5,000 円
			新聞図書費		5,000 円
			広告宣伝費		1,000,000 円
			消耗品費		650,000 円
			雑費		10,000 円
			諸会費		10,000 円
			寄付金	校友会奨学費	79,007,500 円
				大学設備整備事業支援費	10,000,000 円
				学食サポート費	10,000,000 円
			予備費		5,000,000 円
			次期繰越金		687,057,023 円
合計	916,844,523	円	合計		916,844,523 円

※中京大学校友会理事会の議を経て承認（2024年5月11日）

課外活動奨励賞 表彰式

スポーツおよび学術・文化活動の各分野において、
課外活動で優秀な成績を収めた個人・団体を称え表彰式が行われました。

課外活動奨励賞は、課外活動において優秀な成績を収めた学生および団体にに対し校友会が奨励金を贈り、今後より一層、活動の高揚を図っていけるよう表彰を行うものです。2023年度（下半期）は、個人4名と4団体の受賞。2024年度（上半期）には、個人（リレー・ダブルスを含む）41名と8団体が受賞しました。表彰式は豊田キャンパスにて行われ、高橋繁浩校友会副会長から賛辞の言葉とともに賞状と奨励金が授与されました。



2023年度 課外活動奨励賞（下半期）表彰式



2024年度 課外活動奨励賞（上半期）表彰式

01 個人情報保護法への対応について

校友会における個人情報の取り扱いは、次の方針で行います。

■ 基本方針

- ①利用目的をできる限り特定し、必要な範囲に限り個人情報を取得します。
- ②利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて個人情報を利用します。
- ③取得した個人情報は、本人の同意を得ることなく、第三者に提供しません。
- ④情報セキュリティ対策をはじめ、個人情報の紛失、漏えい等の予防に努めます。
- ⑤外部への業務委託については、個人情報の保護に関する契約の締結及び委託先に対する監督を行い、情報の管理に努めます。
- ⑥本人から個人情報の開示・訂正等の請求がなされた場合は、その請求を尊重して対応します。

■ 具体的方針

- ①会員データの利用目的は、会則に定める「会員相互の親睦を図り、校友の組織を充実させるとともに中京大学の発展に寄与すること」に必要な各種案内や刊行物の発送に限り、それ以外の目的には利用しません。
- ②校友会が管理する個人情報のうち、「会員ナンバー、卒業年度、学科、氏名、住所、電話番号、勤務先名、職名、勤務先電話番号」を各県支部長(部会長)に提供します。ただし、提供するデータは各所属会員のものに限り、※この場合の各県支部長(部会長)は、(法21条に定める)校友会の従業者に該当します。
- ③個人情報は校友会が一元的に管理し、従業者が個人情報を適正に管理するよう監督します。
- ④従業者以外の方には、個人情報を提供しません。(会員名簿は発刊しません)
- ⑤第三者が情報の提供を求めてきたときは、校友会がその用件を本人に取り次ぎます。(本人が必要と判断した場合は、本人から相手方に連絡をとっていただきます)
- ⑥本人から個人情報について削除の請求がなされたときは、その請求を尊重して対応します。

※個人情報の削除を希望される方は、事務センターへご連絡ください。所定の手続きの後、データを削除いたします。ただし、削除後は校友会通信等の刊行物及び各県支部校友会やホームカミングデー等の開催案内が一切届かなくなりますので、ご承知おきください。

02 証明書の発行について

各種証明書の発行はWebにて申請してください。卒業年度によりコンビニエンスストアでの発行も可能です。従来通り郵送または窓口での申請も可能です。詳細につきましては、中京大学公式ホームページにてご確認ください。



証明書の発行ページ

03 住所変更等について

会員情報変更につきましては校友会・教育後援会事務センター公式LINEおよび中京大学公式ホームページより変更が可能です。



会員情報変更ページ

中京大学 卒業生 証明書 検索

中京大学 校友会 会員情報変更 検索

公式 LINE 登録のお知らせ

LINEアカウントから二次元コードを読み取り、友だち登録するだけ。



こちらからも登録できます!

そのほか名前検索

ID検索

中京大学校友会・
教育後援会事務センター

@chukyo_alum-parent

友だち登録するだけで、校友会や教育後援会など多彩なイベントや取り組み、在学生や卒業生の活躍など中京大学の“イマ”をお届け!

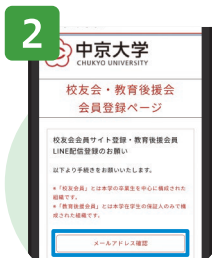
校友会・教育後援会会員サイトにLINE連携していただくと校友会員は住所変更が簡単にできます。教育後援会会員は各学部の必要情報のみ受け取れるようになります。

登録者限定イベントも開催しています。ぜひご参加ください!

校友会・教育後援会会員サイト登録手順



「校友会・教育後援会会員サイト」のアイコンを選択



「メールアドレス確認」をタップしてメールアドレスを入力後、送信



本登録のご案内が届きますので、URLをタップ



「LINEで登録」を選択



必要事項*をご入力の場合「確認画面へ」をタップ

※卒業年度について…(例)2019年3月卒業の場合→2018年度卒で入力します。その他ご不明点等は事務センターまでお問い合わせください。

中京大学校友会・教育後援会事務センター

お問い合わせ先

TEL 052-835-7111(大学代表)
TEL 052-835-7140(事務センター直通) FAX 052-835-6069
中京大学URL <https://www.chukyo-u.ac.jp> 事務センターe-mail koyu@ml.chukyo-u.ac.jp
(平日 9:00~17:00 大学一斉休職等を除く)

〒466-8666
名古屋市中区八事本町101-2

2025年3月発行